

**SC-S80650 / SC-S80650L**  
**SC-S60650 / SC-S60650L**  
**SC-S40650**

# 操作ガイド

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。

## 商標

「EPSON」、 「EPSON EXCEED YOUR VISION」、 「EXCEED YOUR VISION」 は、 セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、 Mac OS、 OS X、 Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、 Windows、 Windows Vista は、 米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、 Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、 米国 YouTube 社 (YouTube,LLC) の商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、 記載漏れなど、 お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、 本書の記載に従わずに取り扱われたり、 不適当に使用されたり、 弊社および弊社指定以外の、 第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

## インクカートリッジ / インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジ/インクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

# もくじ

|                       |           |   |           |
|-----------------------|-----------|---|-----------|
| <b>マニュアルの見方</b> ..... | <b>5</b>  | 毎日の清掃 .....   | 28        |
| マークの意味 .....          | 5         | 定期清掃の仕方 .....   | 29        |
| 安全に関するマーク .... 5      |           | インククリーナーの使い方 .... 29  |           |
| 一般情報に関する表示 .... 5     |           | プリントヘッドの移動 .... 29  |           |
| 掲載イラスト .....          | 5         | プリントヘッド周辺の清掃 .... 30  |           |
| 動画マニュアルについて .....     | 5         | キャップ周辺の清掃 .... 31   |           |
|                       |           | 清掃の終了 .... 34   |           |
|                       |           | 清掃チェックシート .....   | 35        |
|                       |           | インクカートリッジのかくはんと交換 (SC-S80650/<br>SC-S60650/SC-S40650) ..... | 36        |
|                       |           | かくはんの方法 .... 36   |           |
|                       |           | 交換方法 .... 36  |           |
|                       |           | インクパックのかくはんと交換 (SC-S80650L/SC-<br>S60650L) .....            | 38        |
|                       |           | かくはんの方法 .... 38   |           |
|                       |           | 交換方法 .... 39  |           |
|                       |           | 廃インク処理 .....  | 41        |
|                       |           | 準備と交換時期 .... 41   |           |
|                       |           | 廃インクカウンターについて .... 41                                       |           |
|                       |           | 廃インクボトルの交換 .... 41  |           |
|                       |           | メンテナンスパーツの交換 .....  | 43        |
|                       |           | 準備と交換時期 .... 43   |           |
|                       |           | 交換方法 .... 44  |           |
|                       |           | 使用済み消耗品の処分 .....  | 46        |
|                       |           | 純正カートリッジの回収 .... 46   |           |
|                       |           | 廃棄 .... 46  |           |
|                       |           | 消耗品交換チェックシート .....  | 47        |
|                       |           | 長期間保管するときの事前メンテナンス .....                                    | 48        |
|                       |           | 事前メンテナンス実施タイミング .... 48                                     |           |
|                       |           | 事前メンテナンスの方法 .... 48   |           |
|                       |           | 使用を再開するとき .... 49   |           |
|                       |           |   |           |
|                       |           | <b>メンテナンス用品のご案内</b> .....                                   | <b>50</b> |
|                       |           | インクカートリッジ .....   | 50        |
|                       |           | インクパック .....  | 51        |
|                       |           | メンテナンス用品 .....  | 51        |
| <b>メンテナンス</b> .....   | <b>24</b> |   |           |
| メンテナンスの種類と実施時期 .....  | 24        |   |           |
| 清掃箇所と実施時期 .... 24     |           |   |           |
| 消耗品の箇所と交換時期 .... 25   |           |   |           |
| その他のメンテナンス .... 26    |           |   |           |
| 準備するもの .....          | 27        |   |           |
| 作業時のご注意 .....         | 27        |   |           |

---

**インクのボタ落ちやノズル目詰まりの対処方法 ..... 53**

ヘッドクリーニング ..... 53

自動ヘッドメンテナンス ..... 54

# マニュアルの見方

## マークの意味

### 安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。        |
|  <b>注意</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。 |

### 一般情報に関する表示

|   |   |
|---|---|
|  <b>重要</b> | 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。 |
|  <b>参考</b> | 補足説明や参考情報を記載しています。  |
|            | 関連する内容の参照先を示しています。  |
| [プリンター設定]   | 操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[ ]で囲んで示します。                                |
| 【OK】ボタン   | 操作パネルのボタン名称を示しています。   |

## 掲載イラスト

本書に掲載しているイラストは、特に指定がない限り SC-S40650 です。

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

## 動画マニュアルについて

メディアのセットや基本的なメンテナンス作業を紹介した動画マニュアルを YouTube にアップしています。動画マニュアルは、『オンラインマニュアル』のトップページで [Epson Video Manuals] をクリックしてご覧いただくか、以下の手順でご覧いただけます。オンラインマニュアルの開き方  『一般情報』(PDF) スマートフォンやタブレット端末からは、以下の QR コードにアクセスしてご覧ください。



- 1 YouTube (<https://youtube.com>) へアクセスします。
- 2 画面上部の検索バーで、「Epson Video Manuals (LFP)」と入力して実行します。
- 3 検索結果の [Epson Video Manuals (LFP)] をクリックします。
- 4 お使いの機種の再生リストからご覧になる動画を選んで再生します。

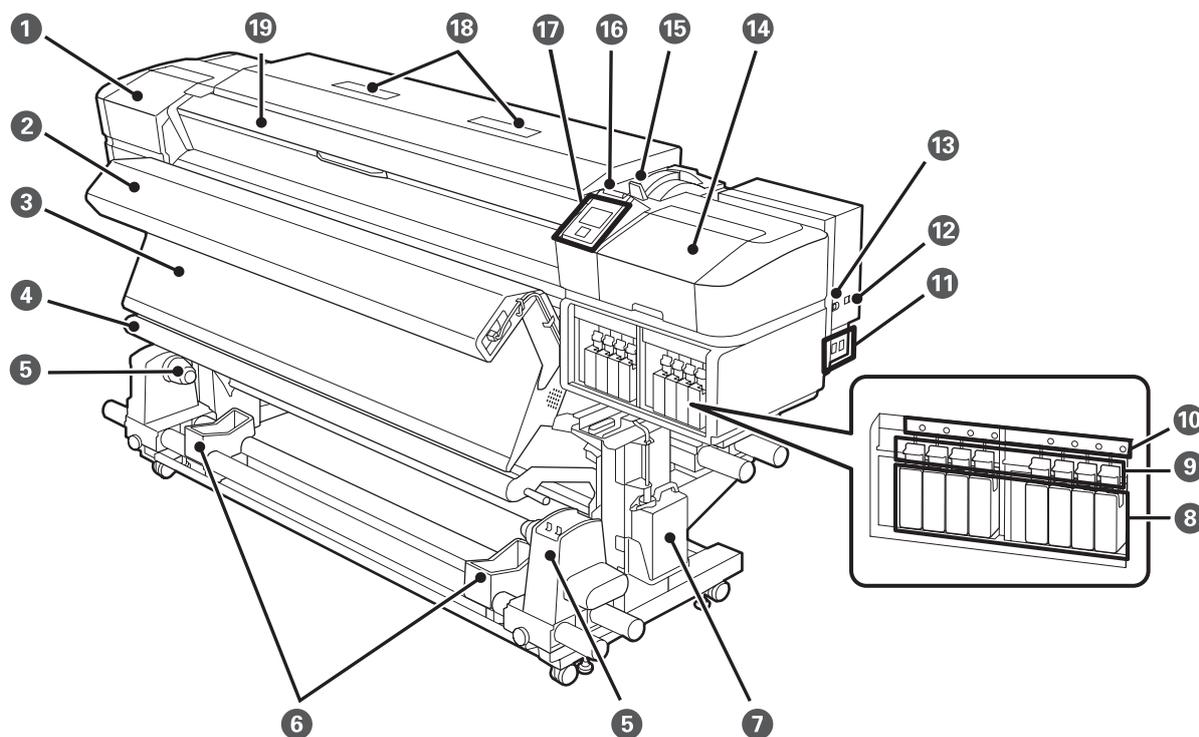
なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



# 各部の名称

## 正面

SC-S60650 のイラストで説明しています。

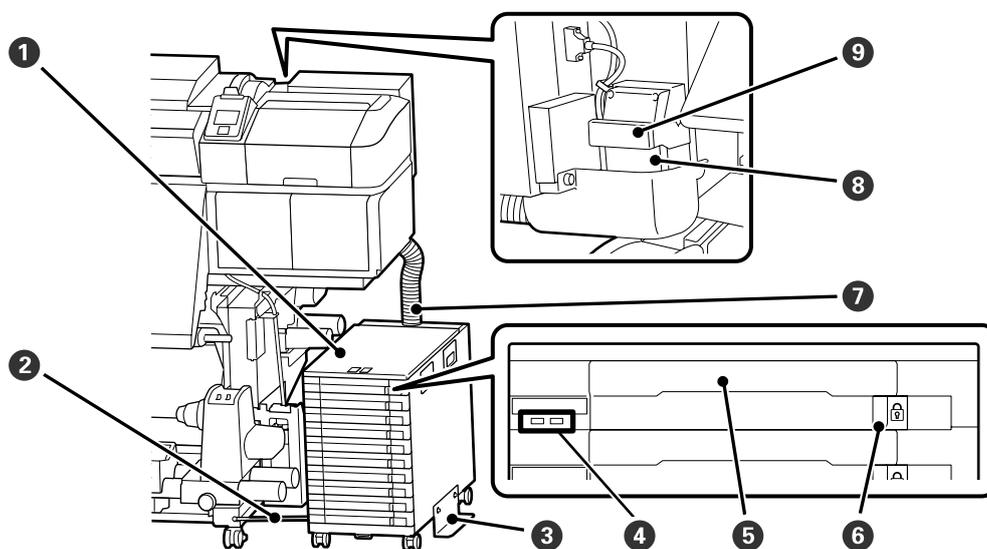


- |                      |                       |              |
|----------------------|-----------------------|--------------|
| ① メンテナンスカバー (左)      | ⑧ インクカートリッジ*2         | ⑮ メディアセットレバー |
| ② 外付け乾燥ファンユニット*<br>1 | ⑨ ロックレバー*2            | ⑯ 大型アラートランプ  |
| ③ アフターヒーター           | ⑩ カートリッジチェック<br>ランプ*2 | ⑰ 操作パネル      |
| ④ テンションバー            | ⑪ 電源コネクター #1/#2       | ⑱ エアフィルター    |
| ⑤ 紙管ホルダー 左/右         | ⑫ LAN ポート             | ⑲ 前面カバー      |
| ⑥ ロールサポート (2 個)      | ⑬ USB ポート             |              |
| ⑦ 廃インクボトル            | ⑭ メンテナンスカバー (右)       |              |

\*1 SC-S60650/SC-S60650L は標準装備。SC-S40650/SC-S80650/SC-S80650L はオプション品。

\*2 SC-S40650 は右側のブロックのみ。SC-S80650L/SC-S60650L はなし。

## インクユニット (SC-S80650L/SC-S60650L)



① インクユニット

② 固定ワイヤー

③ 転倒防止板

④ LED ランプ

⑤ トレイ

⑥ ロックスイッチ

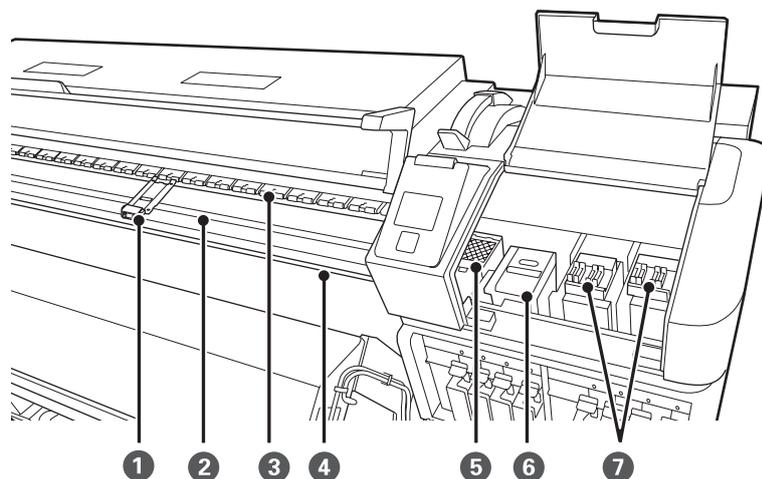
⑦ インクチューブ

⑧ インクチューブコネクター

⑨ コネクターロックレバー

## 内部

SC-S60650 のイラストで説明しています。



① メディア押さえ板 (2枚)

② プラテンヒーター

③ 加圧ローラー

④ カッター溝

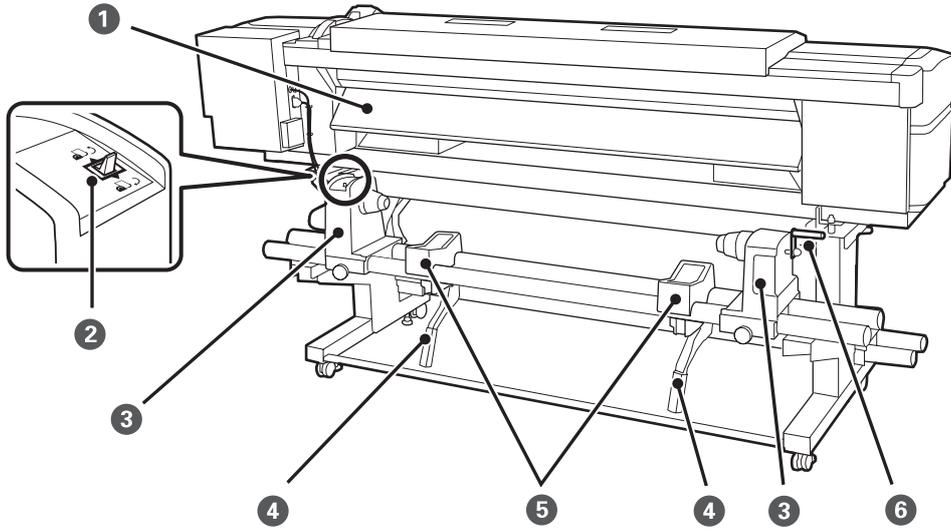
⑤ フラッシング用吸収材

⑥ ワイパーユニット

⑦ キャップ\*1

\*1 SC-S40650 は右側のみ。

# 背面



- ① プリヒーター
- ② 駆動スイッチ

- ③ ロールホルダー 左/右
- ④ リフトレバー (2個)

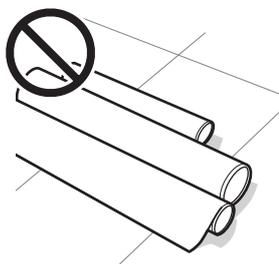
- ⑤ ロールサポート (2個)
- ⑥ ハンドル

## 基本の操作

### メディアセット前のご注意

以下の点を守らずにメディアを取り扱くと、メディア表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

**むき出しのまま直接メディアを床に置かない。**  
メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



**衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。**

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



### メディアセット時のご注意

#### ⚠ 注意

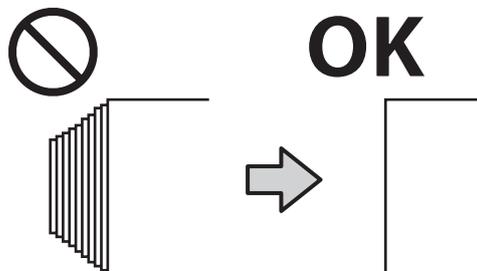
- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアは重いので、1人で運ばないでください。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

#### メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

#### 左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろうように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。

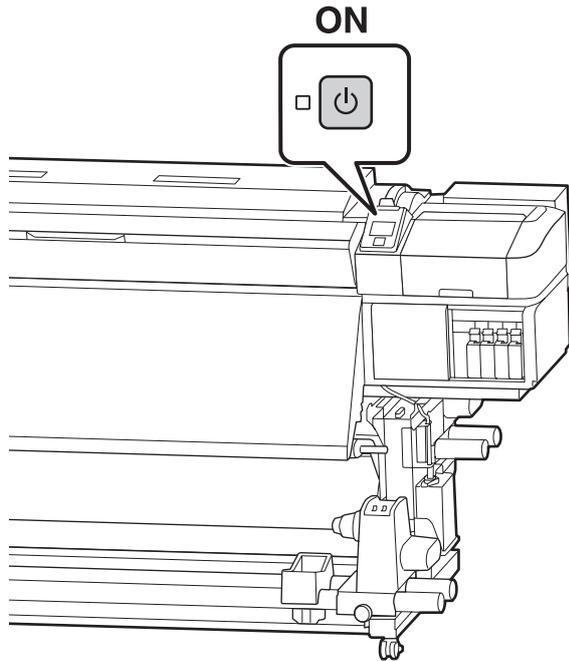


# メディアのセット方法

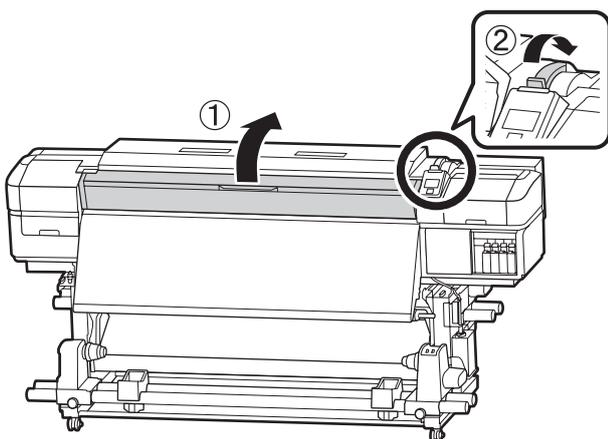
手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[「動画マニュアルについて」5 ページ](#)

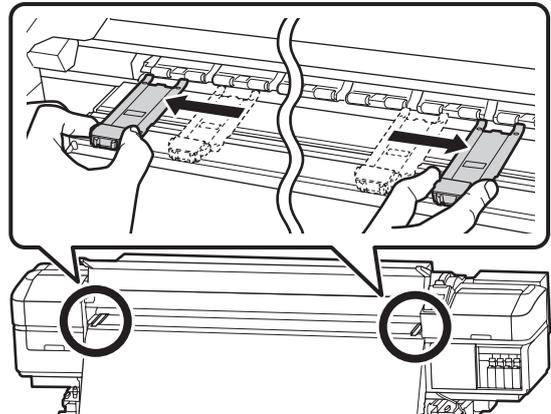
- 1** 【】 ボタンを押して、画面に [メディアをセットしてください。] と表示されるまで待ちます。



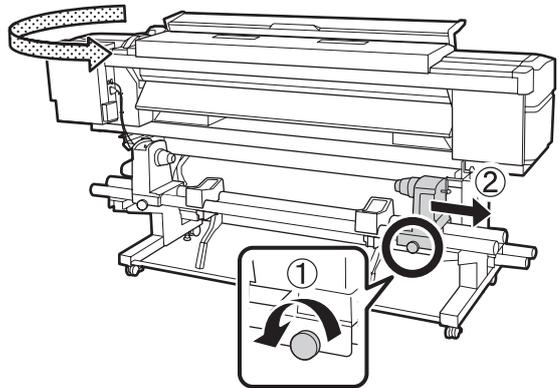
- 2** 前面カバーを開けてからメディアセットレバーを倒します。



- 3** メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、プラテンの左右端へ退避させます。

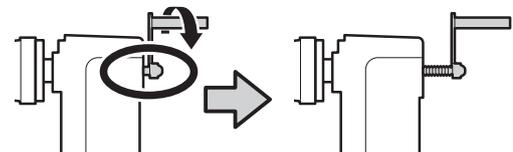


- 4**

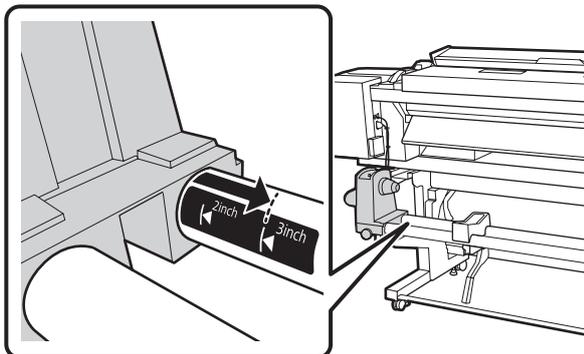


**！重要**

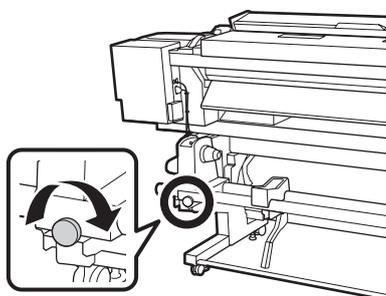
右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。



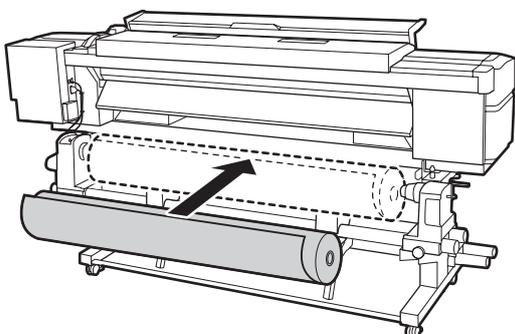
- 5** セットするメディアの紙管サイズに応じて、ロールホルダーをセット位置に移動します。



- 6** 固定ネジは回らなくなるまできつく締めます。



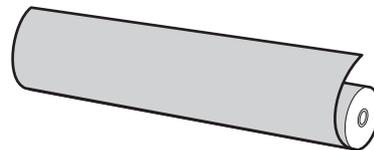
**7**



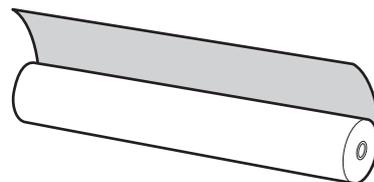
**参考**

メディアの巻き仕様により、ロールメディアの置き方が以下のように異なります。

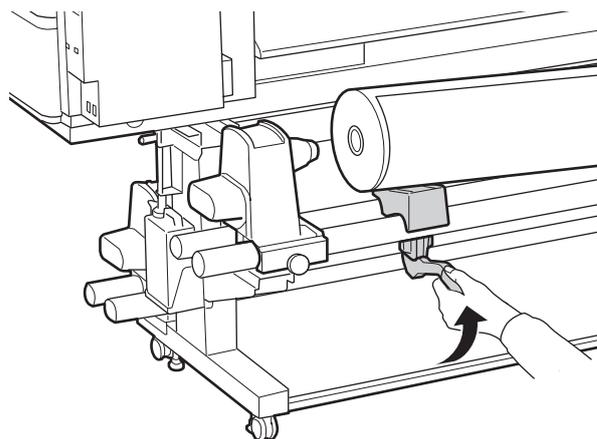
**印刷面外巻き**



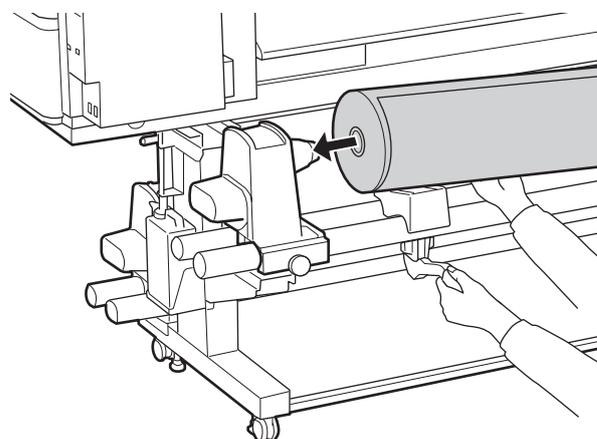
**印刷面内巻き**



**8**



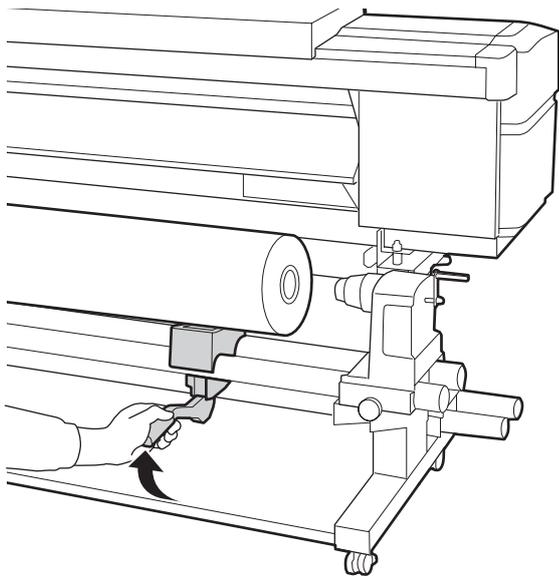
- 9** メディアの紙管をロールホルダーにしっかり挿入します。



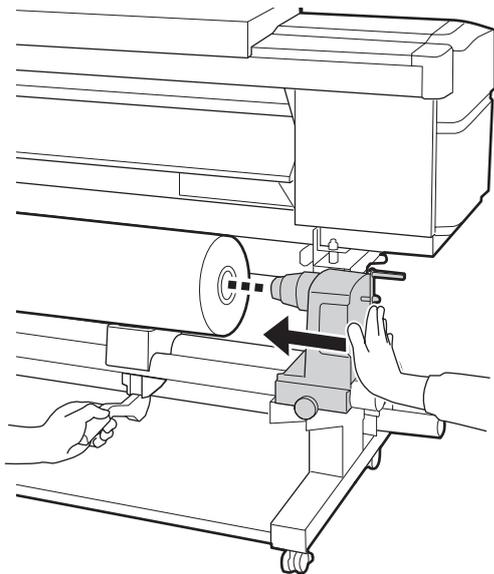
**参考**

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。  
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

10



11

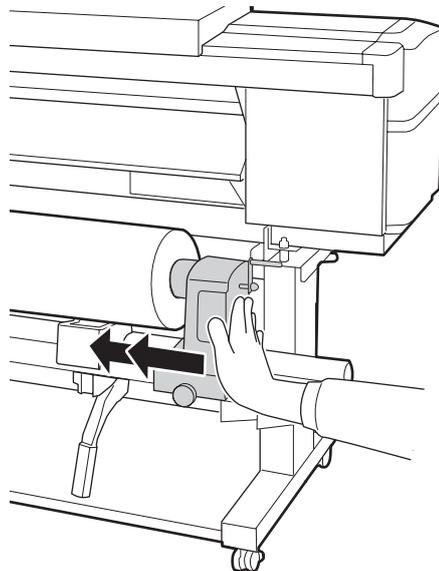


**参考**

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。  
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

12

ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、2回押し付けます。

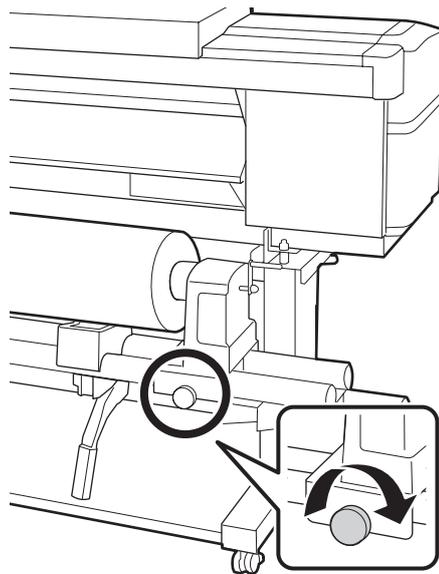


**!重要**

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア送りが正しく行えません。  
このため、印刷結果にバンディングが生じることがあります。

13

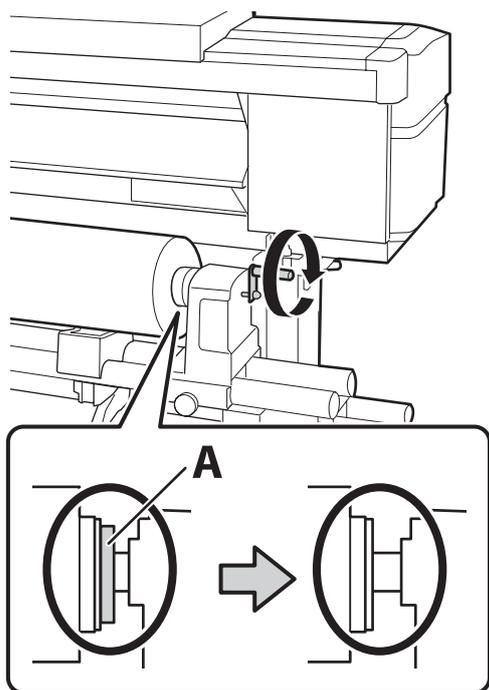
固定ネジは回らなくなるまできつく締めます。



**!重要**

- ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロールホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷品質低下の原因となります。
- ロールの左右の端がそろっていないときは、そろえ直してください。

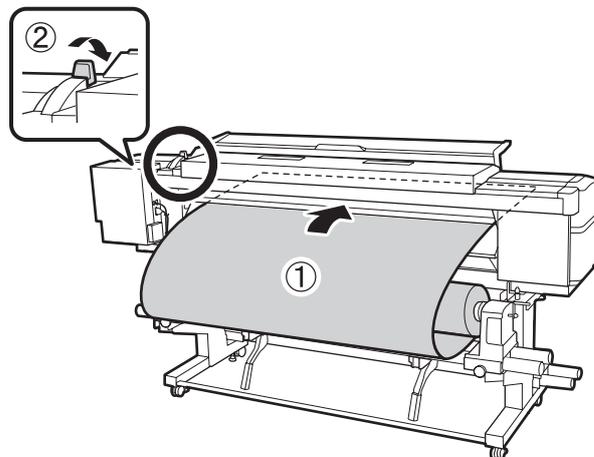
**14** 以下の図の **A** の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。



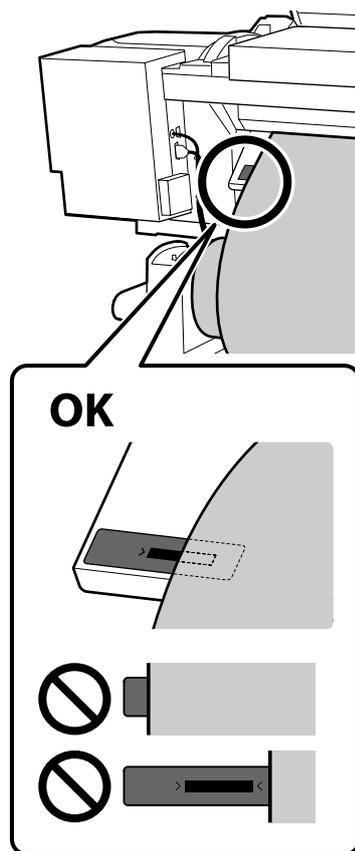
**!重要**

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロールホルダー固定ネジを緩めて、手順 4 からやり直してください。

**15** メディアを挿入口から **30cm** ほど挿入し、メディアアセットレバーを下げます。



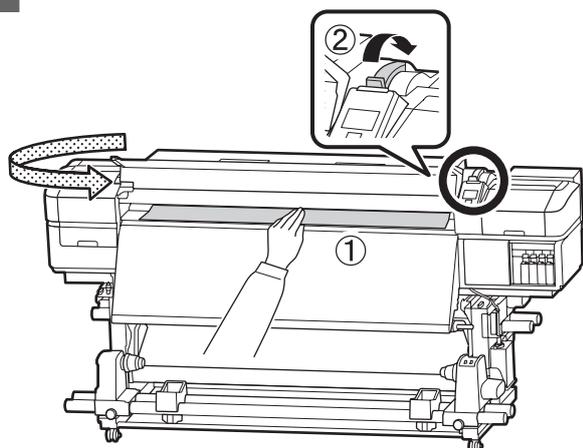
**16** メディアの左端が下図の通り、ラベルの四角の範囲内を通っていることを確認します。



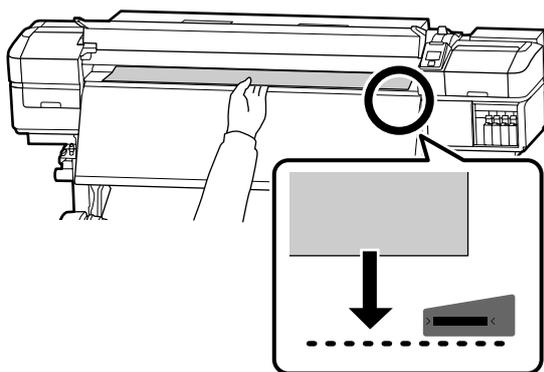
**参考**

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出しているときは、必ず手順 16 から逆順で手順 5 まで戻ってロールホルダーの位置を調整してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

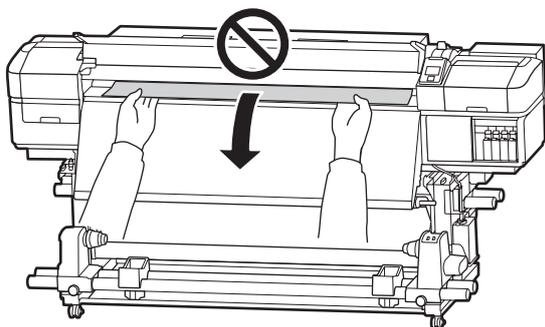
17



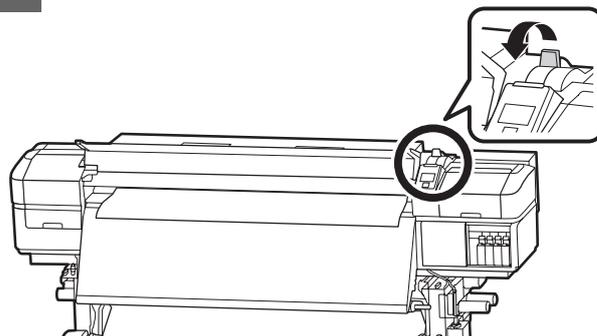
18 メディアの中央を片手で持って、アフターヒーター上のラベルの下端までまっすぐに引き出します。



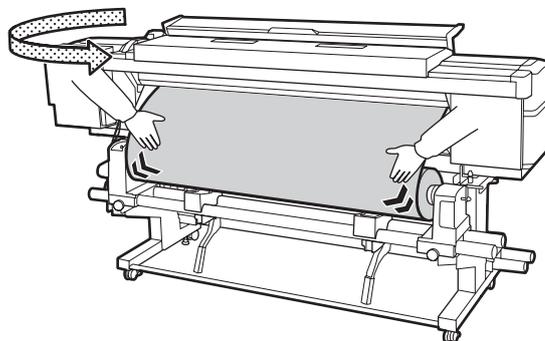
メディアを両手で引き出さないでください。メディアが斜行・蛇行する原因となります。



19



20 メディアの両端を軽くたたいて、左右で張りに違いがあるか確認します。

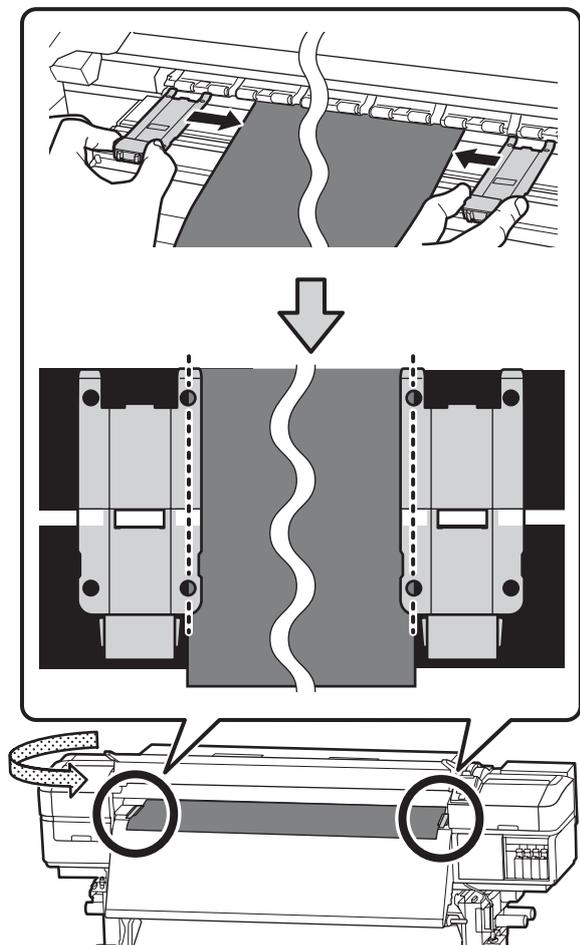


張りに違いがあるときは、メディアが歪んで取り付けられています。

本機正面に回り、メディアセットレバーを上げて、メディアの歪みを直してください。

歪みを直したら、メディアセットレバーを下げます。

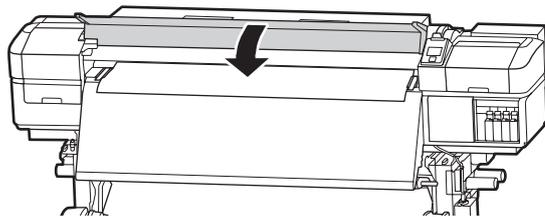
- 21** メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、メディア端の上まで移動します。メディア押さえ板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように合わせます。



**!重要**

- メディアの厚さが0.4mm以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、破れたりするときはメディア押さえ板を使用しないでください。

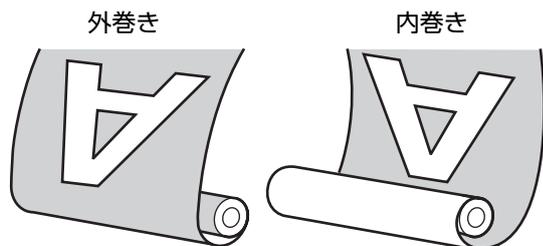
**22**



## 自動巻取りユニットの使い方

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。



外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。  
内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

🔗 [「動画マニュアルについて」5 ページ](#)

### ⚠️ 注意

- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧ください。メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するおそれがあります。
- メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。けがをするおそれがあります。

## 紙管の取り付け

### 準備

#### メディア幅よりも長い紙管を用意する。

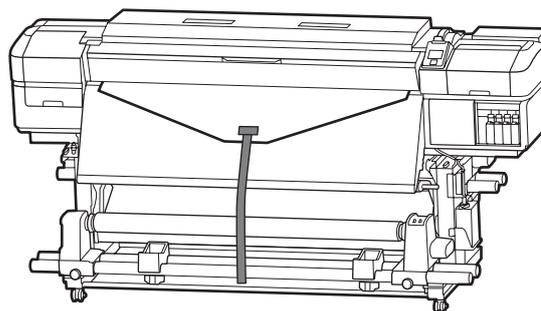
メディアが紙管からはみ出さずに正しく巻き取ることができます。

#### 付属の紙テープを用意する。

以下のメリットがあるため、メディアを巻取り紙管に貼り付ける際に紙テープを使う方法を推奨しています。

- 左右の巻きすれ・メディアの蛇行を抑制できるため、ジョブごとの印刷長が安定する。
- メディアを無駄にしない。

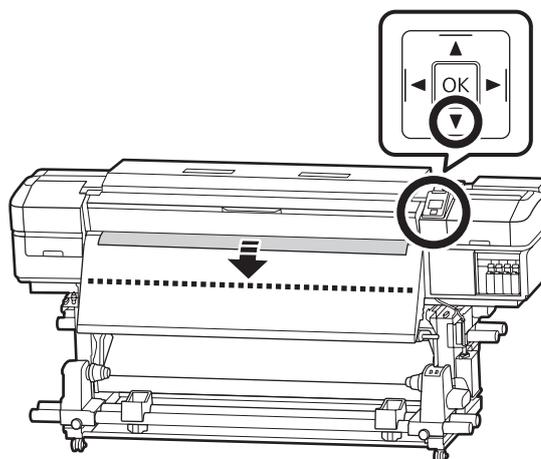
- 巻き取り後、メディアを紙管から簡単に取り外せる。



付属の紙テープが終了したときは、幅 20~25mm の市販の紙テープ（伸びにくく切れにくいもの）をお買い求めください。紙テープが手に入らないときは、メディアを幅 20~25mm、長さ約 70cm にカットしたもので代用できます。

## 取り付け方

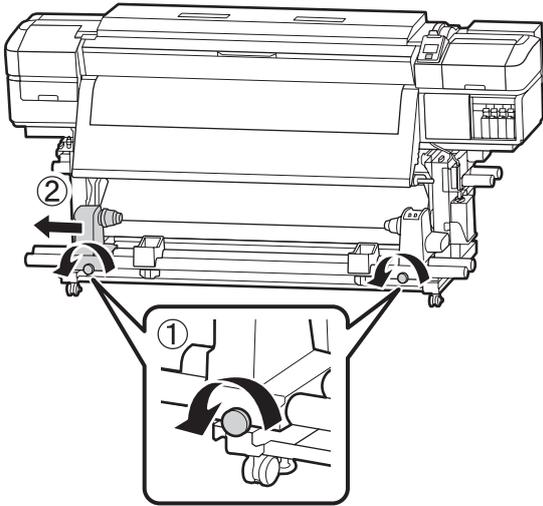
- 1 メディアの先端がアフターヒーターの中央に届くまで、【▼】ボタンを押し続けます。



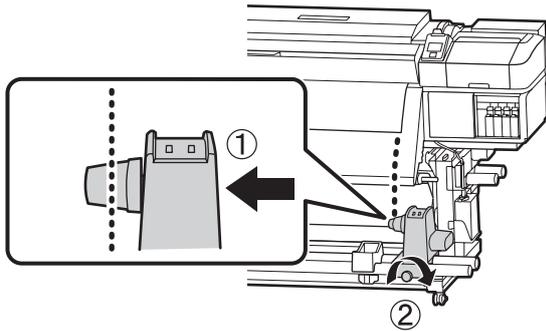
### ! 重要

メディアは、必ず【▼】ボタンを押して送り出してください。手で引き出すと、巻き取り時にメディアがねじれる原因となります。

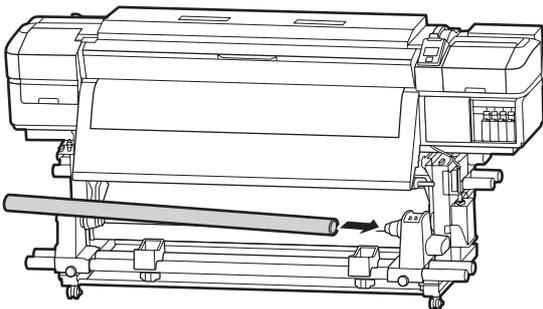
2



3 紙管ホルダーをメディア右端に合わせて、固定ネジを締めます。

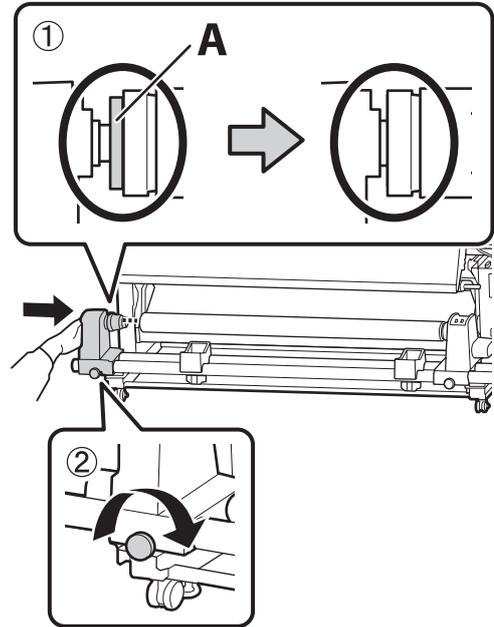


4 右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。



5

図の A の部分が完全に入り込むまで押し付けて、固定ネジを締めます。

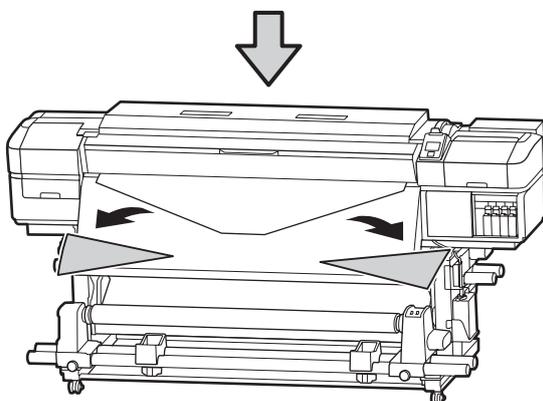
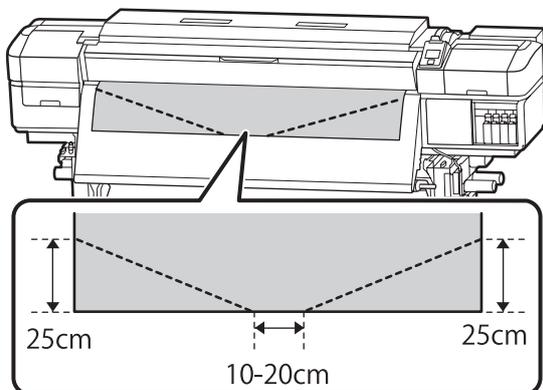


**!重要**

A の部分が隠れたら、それ以上は押し込まないでください。押し込みすぎると、正しく巻き取れないことがあります。

- 6** メディアの中央を **10~20cm** 残して、左右とも高さ **25cm** 以上になるように角をカットします。

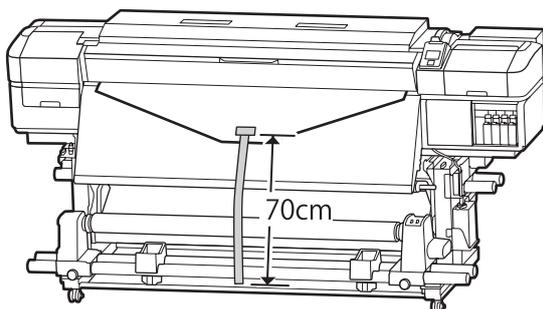
カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れなくなる不具合を防げます。



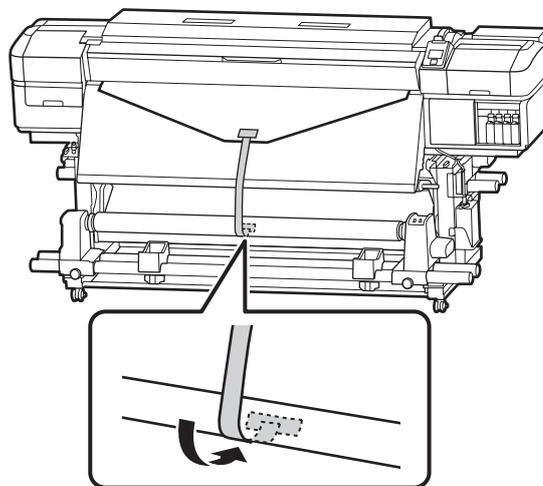
続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。  
 外巻きで巻き取るとき [「外巻きでの巻き取り方」 18 ページ](#)  
 内巻きで巻き取るとき [「内巻きでの巻き取り方」 19 ページ](#)

## 外巻きでの巻き取り方

- 1** 紙テープを長さ約 **70cm** にカットして、メディアの中央に市販の粘着テープで貼り付けます。



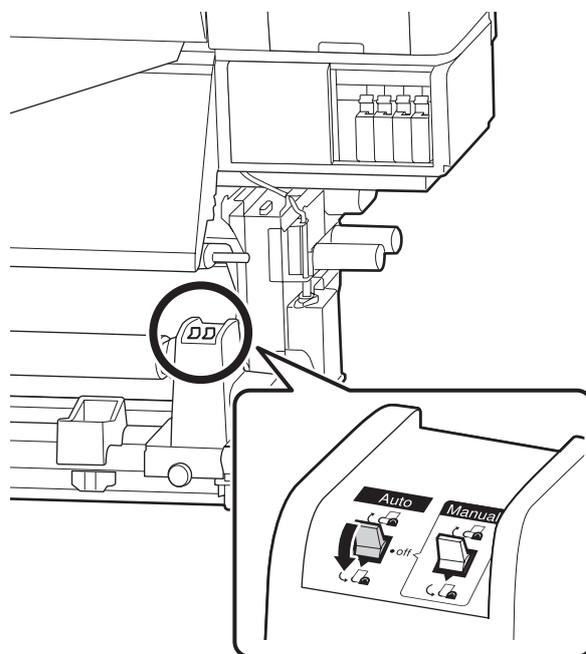
- 2** 紙テープをまっすぐ下に引っ張りながら、紙管の表側から裏側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。



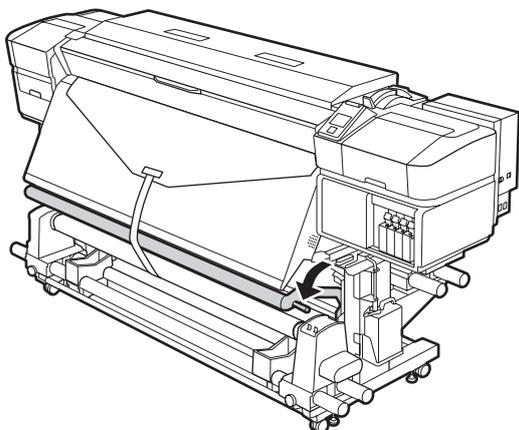
### !重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

- 3** Auto スイッチを  にセットします。

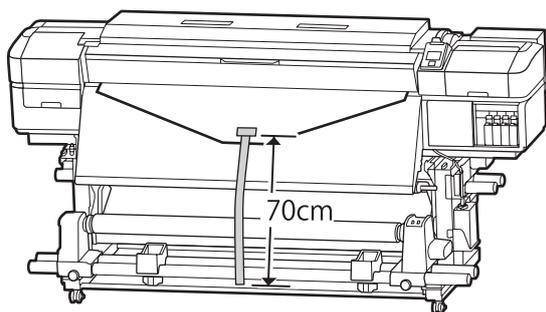


- 4 テンションバーが紙テープに軽く触れるまで倒します。

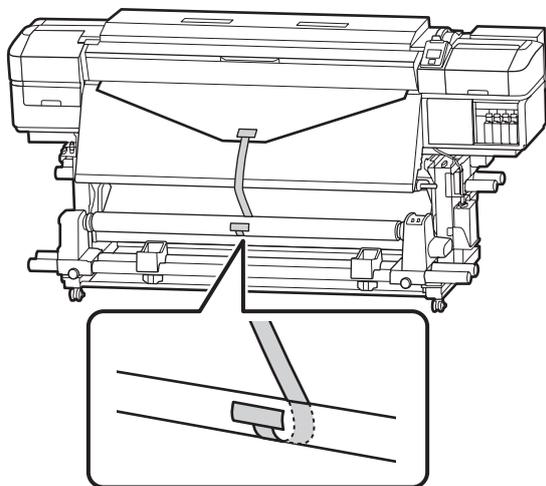


## 内巻きでの巻き取り方

- 1 紙テープを長さ約 70cm にカットして、メディアの中央に市販の粘着テープで貼り付けます。



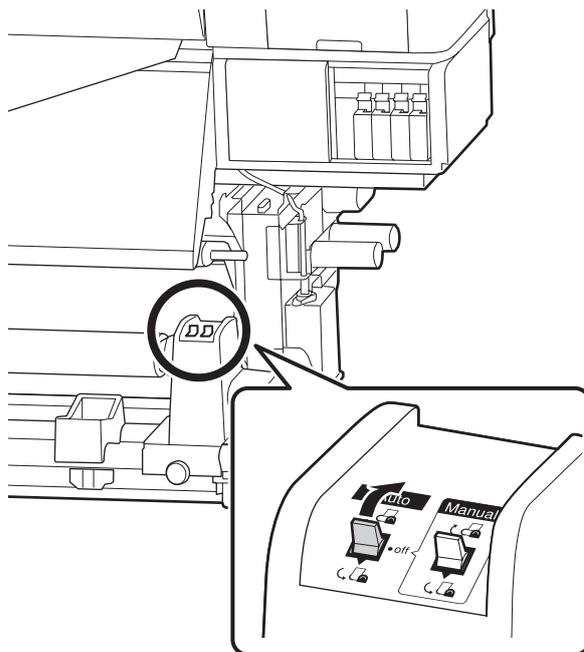
- 2 紙テープをまっすぐ下に引っ張りながら、紙管の裏側から表側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。



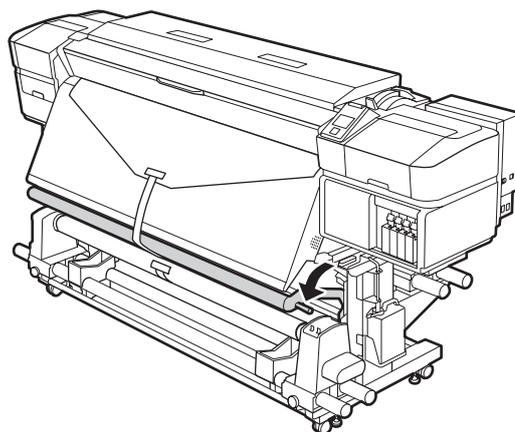
### ！重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

- 3 Auto スイッチを  にセットします。



- 4 テンションバーが紙テープに軽く触れるまで倒します。



## セットしたメディアの設定

メディアのセットが終了したら、操作パネルの画面表示に従って、セットしたメディアに対する次の設定を行います。

### 1. メディア設定番号の選択

印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択します。



### 2. ロール巻き仕様選択

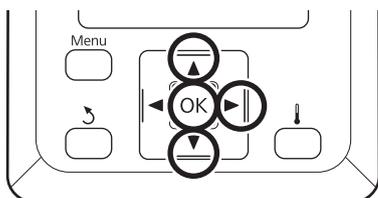
セットしたメディアロールの巻き仕様を選択します。



### 3. メディア長さを設定

セットしたメディアの長さを設定します。

以下の設定で使用するボタン



1 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、セットしたメディアの印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択し、【OK】 ボタンを押します。



新規のメディアで、まだメディア設定がされていないときは、一旦未設定の番号を選択してメディアの給紙完了後に簡単メディア設定を実施してください。

メディア設定の方法 『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、セットしたロールの巻き仕様を選択し、【OK】 ボタンを押します。



3 セットしたメディアの長さを入力する画面が表示されます。  
【▼】 / 【▲】 ボタンを押してメディアの全長を1.0～100.0mの範囲で設定し、【OK】 ボタンを押します。



メディア残量が印刷されているときは、その値を設定します。

【▶】 ボタンを押すと [OFF] を選択できます。  
[OFF] を選択すると、残量管理は行われません。

#### 参考

#### 【残量管理設定】 - [ON] で有効になる2つの機能

以下の2つの機能で、印刷前におおよそのメディア残量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなります。

- メディア残量の表示  
設定したメディアの長さとおおよそのメディア残量を推定し、操作パネルの画面に残量値を表示します。
- メディア残量警告  
設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセージが表示されます。

しばらくして画面に【印刷可能】と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

## 巻き取ったメディアの取り外し方

メディアを交換するときは、以下の順番で作業をしてください。

1.メディア残量を印刷する。(メディア残量管理 ON 時)



2.メディアをカットする。



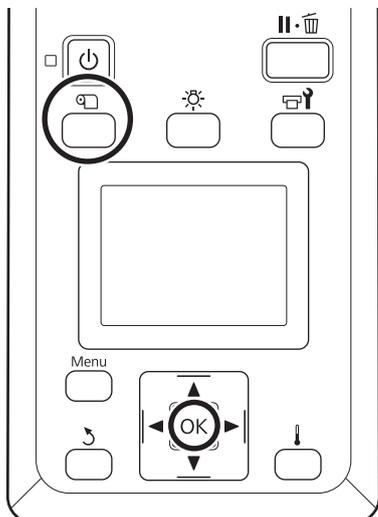
3.メディアを取り外す。

## メディア残量の印刷

取り外すメディアの残りの長さを印刷しておき、次回このメディアをセットするときに印刷を見てメディア長さを入力すれば、正確な残量管理に役立ちます。[残量管理設定]を【OFF】にしているときには残量印刷はできません。

メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認します。
- 2 【☐】ボタンを押し、【メディア残量管理】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 【メディア残量印刷】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 4 【OK】ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

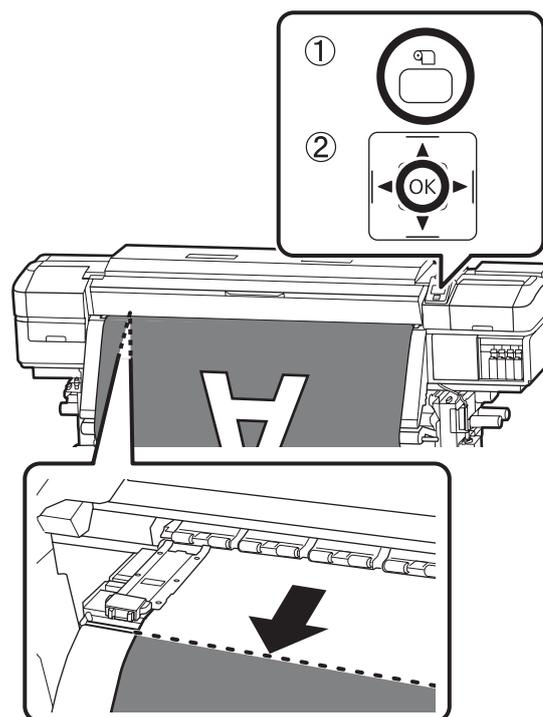
## メディアのカット

### ⚠ 注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指を切らないように注意してください。

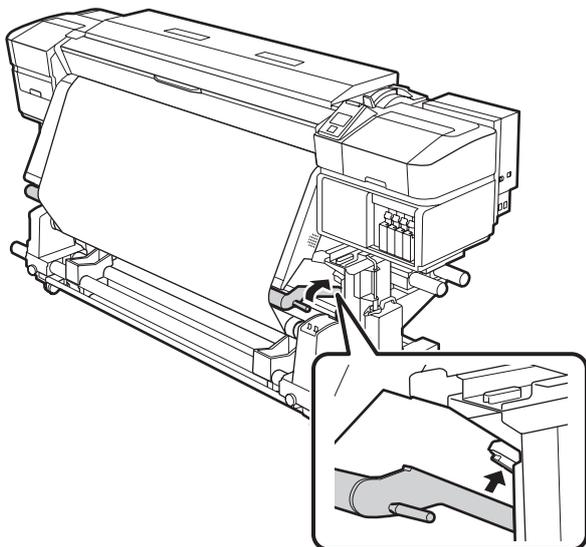
- 1 【☐】ボタンを押して【カット位置まで送る】を選択し、【OK】ボタンを押します。

印刷終端がカット位置（カッター溝）まで送られます。



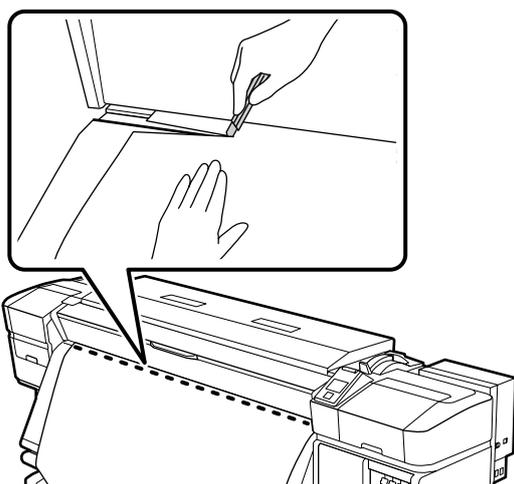
メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷部分が取り外すロール側に残るように、【▲】ボタンを押してカッター溝より向こう側に戻します。

- 2** 自動巻取りユニットを使用しているときは、テンションバーを起こします。



- 3** カッターを垂直に持ち、カッターの刃がカッター溝の側面にしっかり沿うように移動させます。

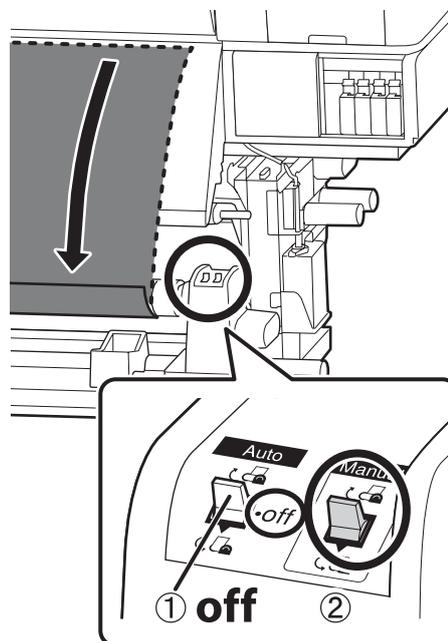
手が前面カバーに当たり、うまく作業ができないときは前面カバーを開けてカットしてください。



**！重要**

メディアをカットしたときは、メディアが前面カバーの内側で盛り上がったたり、メディア押さえ板から外れたりしていないことを確認してから印刷してください。

- 4** Auto スイッチを Off にします。巻き取りの巻き仕様に応じて Manual スイッチを操作して、切り離れたメディアを最後まで巻き取ります。



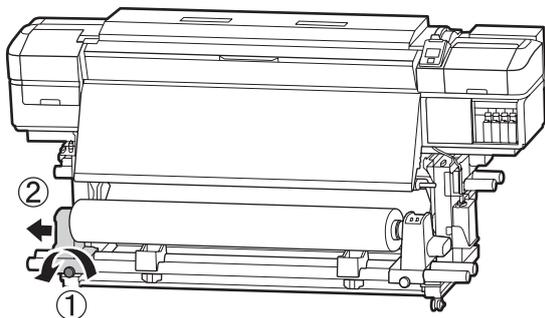
## メディアの取り外し

**！注意**

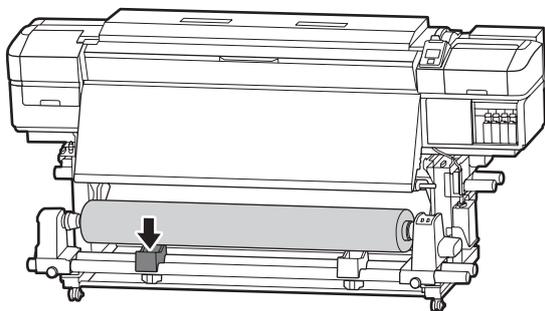
- 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2人以上で行ってください。
- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。  
メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下する場合がございます。

- 1** 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの左側を下から支えます。

- 2 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

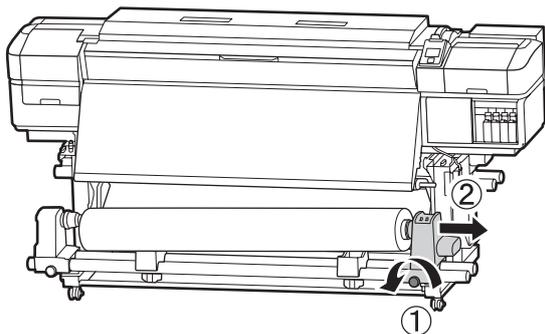


- 3 ロールをロールサポート上に降ろします。

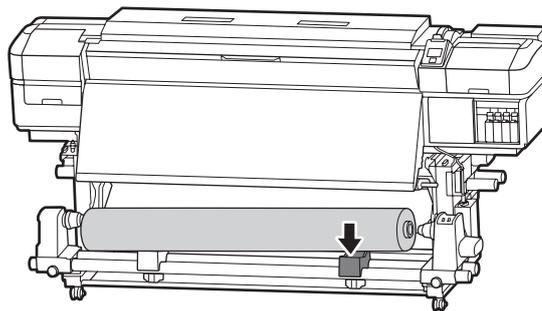


- 4 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの右側を下から支えます。

- 5 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。



- 6 ロールをロールサポート上に降ろします。



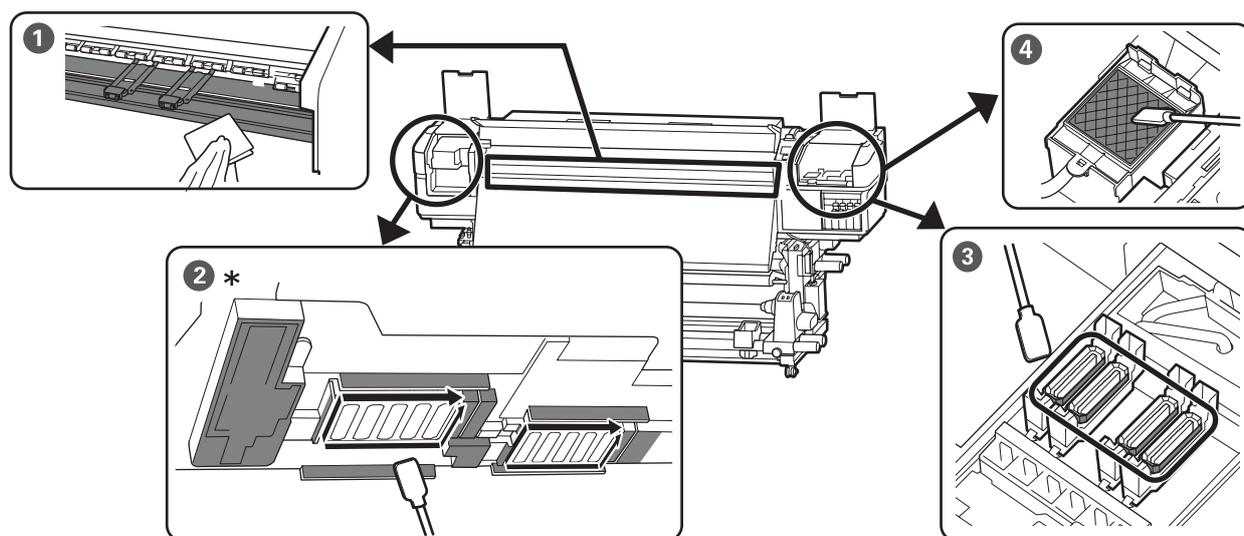
- 7 背面の搬送ユニットのメディアは、セットしたときと逆の手順で取り外します。

# メンテナンス

## メンテナンスの種類と実施時期

### 清掃箇所と実施時期

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。



\* SC-S40650 のプリントヘッドは右側のみの。

| 実施時期        | 清掃箇所  |
|-------------|---|
| 毎日の作業開始前    | <b>①</b> プラテンヒーター・メディア押さえ板<br><a href="#">☞ 「毎日の清掃」 28 ページ</a>  |
| 1 ヶ月に 1 回以上 | <b>②</b> プrintヘッド周辺<br><b>③</b> キャップ<br><b>④</b> フラッシング用吸収材（汚れているとき）<br><a href="#">☞ 「定期清掃の仕方」 29 ページ</a><br><br>手順は YouTube から動画でご覧いただけます。<br><a href="#">☞ 「動画マニュアルについて」 5 ページ</a> |

#### ！重要

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質が低下します。

使用環境や使用メディアによっては、定期清掃の回数を増やしてください。

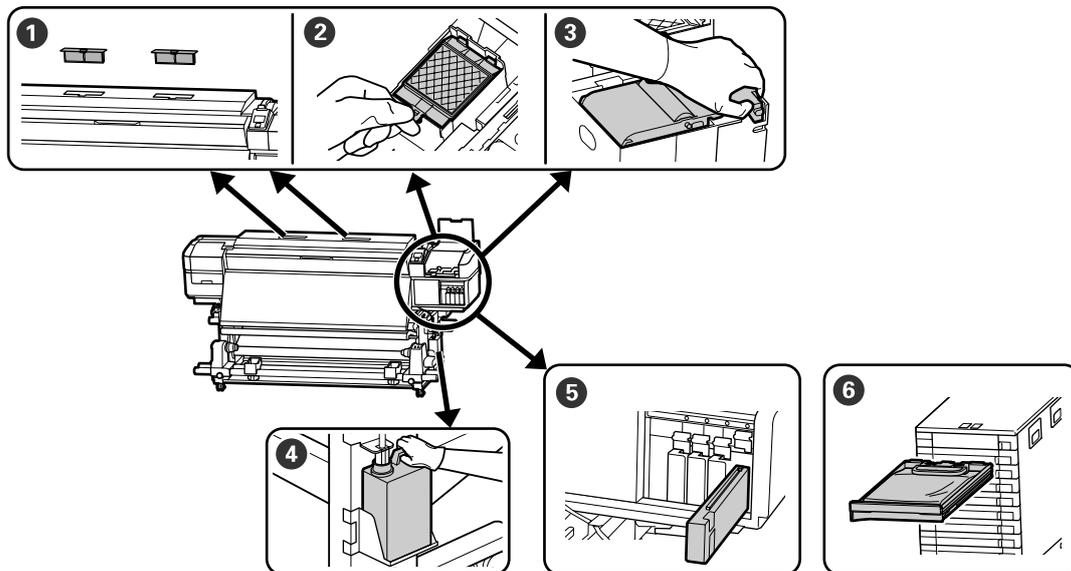
#### その他の清掃箇所

以下の部分は、汚れが気になるときに清掃してください。

- 前面カバー内側
- 加圧ローラー

清掃方法 ☞ 『ユーザズガイド』（オンラインマニュアル）

## 消耗品の箇所と交換時期



| 実施時期                             | 交換箇所  |
|----------------------------------|---|
| 操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき   | ① エアフィルター<br>② フラッシング用吸収材<br>③ ワイパーユニット<br>☞ <a href="#">「メンテナンスパーツの交換」 43 ページ</a><br>④ 廃インクボトル<br>☞ <a href="#">「廃インク処理」 41 ページ</a>                  |
| 操作パネルの画面にインク残量が限界値以下のエラーが表示されたとき | ⑤ インクカートリッジ (SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650)<br>☞ <a href="#">「交換方法」 36 ページ</a><br>⑥ インクパック (SC-S80650L/SC-S60650L)<br>☞ <a href="#">「交換方法」 39 ページ</a> |

## その他のメンテナンス

| 実施時期   | 実施事項   |
|--|--|
| SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 使用時<br>・ 3 週間に 1 度<br>・ 毎日の印刷業務開始前 (WH/MS のみ) *1                       | インクカートリッジのかくはん<br>☞ <a href="#">「かくはんの方法」 36 ページ</a>         |
| SC-S80650L/SC-S60650L 使用時<br>・ インクユニットの LED ランプが青色点滅しているとき (3 週間に 1 度)<br>・ 毎日の印刷業務開始前 (WH/MS のみ) *1 | インクパックのかくはん<br>☞ <a href="#">「かくはんの方法」 38 ページ</a>            |
| ・ ノズルが目詰まりしているか確認したいとき<br>・ 目詰まりしている色を確認したいとき<br>・ 水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング) が見られるとき                     | ノズルの目詰まりチェック*2   |
| ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき   | ヘッドクリーニング<br>☞ <a href="#">「ヘッドクリーニング」 53 ページ</a>            |
| 本機を長期間使用しない (電源を切る) とき   | 長期保管前メンテナンス<br>☞ <a href="#">「長期間保管するときの事前メンテナンス」 48 ページ</a> |
| 操作パネルの画面に注油を促すメッセージが表示されたとき  | キャリッジ軸に付属のグリスを塗る*2   |

\*1 SC-S80650/SC-S80650L で 10 色モード選択時

\*2 詳細 ☞ 『ユーザーズガイド』 (オンラインマニュアル)

## 準備するもの

定期清掃や消耗品の交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。  
インクカートリッジ/インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のもをご用意ください。

☞ [「メンテナンス用品のご案内」50 ページ](#)

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

### 保護メガネ（市販品）

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

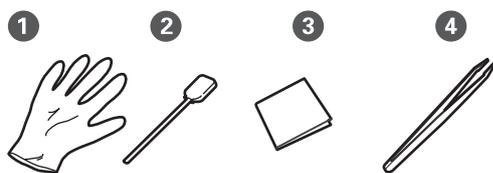
### マスク（市販品）

インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

### メンテナンスキット（本製品付属）

清掃全般で使用します。

以下の部品がセットで入っています。



- ① 手袋（12 枚）
- ② クリーニング棒（20 本）
- ③ クリーンルーム用ワイパー（100 枚）
- ④ ピンセット（1 個）

### インククリーナー（本製品付属）

インク汚れを拭き取るときに使います。

使い方 ☞ [「インククリーナーの使い方」29 ページ](#)

### 金属トレイ（本製品付属）



清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したインククリーナーを置くのに使います。

#### ！重要

使用済みのクリーニング棒などを本機の上に直接置くとインククリーナーの性質上、変形のおそれがあります。

## 作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って行ってください。

### ⚠ 注意

- インクカートリッジ、クリーニングカートリッジ、インククリーナー、グリス、廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。  
インクや廃インク、インククリーナー、グリスが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
  - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- 廃インクボトルの交換やインククリーナーを使った作業の後には、手洗いとうがいを十分に行ってください。

- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- プrintヘッド周辺やキャップ周辺の清掃に水やアルコールを使わないでください。インクと水、アルコールが混ざると固まります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

## 毎日の清掃

プラテンヒーター上やメディア押さえ板に毛羽ゴミやホコリ、インクが付着していると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。

きれいな状態で印刷が行えるように、毎日の作業開始前に清掃することをお勧めします。

### ⚠ 注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

### ! 重要

内部の清掃には、インククリーナーを使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。

- 1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

電源プラグは2つとも抜きます。

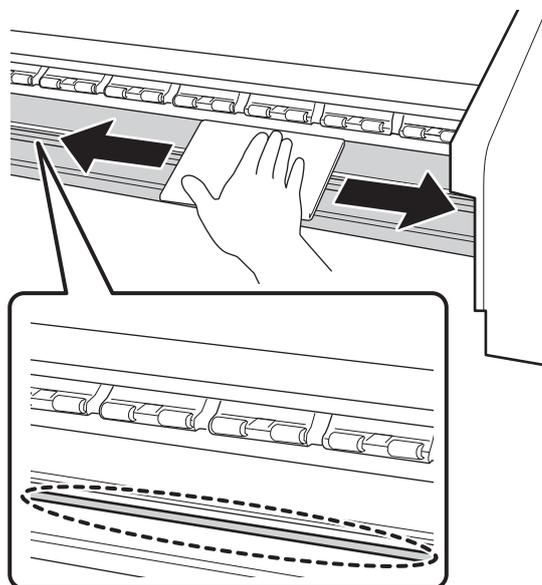
外付け乾燥ファン装着時は、外付け乾燥ファンの電源プラグも抜いてください。

- 2 電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

- 3 前面カバーを開けます。

- 4 水に浸してよく絞った柔らかい布で、プラテンヒーターに付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれいに取り除いてください。



- 5 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押さえ板の表面に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。

### ! 重要

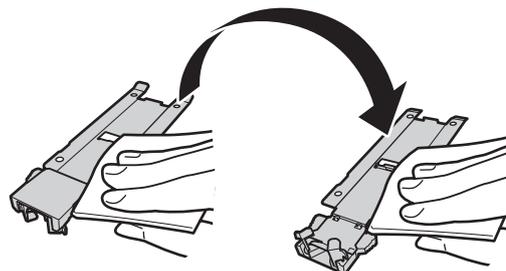
のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取ってください。裏面にのりが固着したまま使用し続けると、ヘッドこすれの原因になることがあります。

### のり付きメディアを使用したとき・インクが付着したとき

メディア押さえ板を本機から取り外して、表裏両面の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてください。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方  『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）



## 定期清掃の仕方

操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されたら、速やかに定期清掃を行ってください。

【】 ボタンを押してヘッドメンテナンスを行ってください。]

定期清掃は、以下の順番で行います。

プリントヘッドの移動



プリントヘッド周辺の清掃



キャップ周辺の清掃

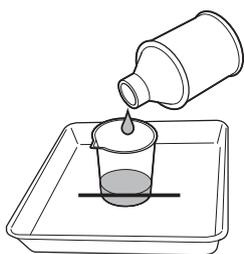
## インククリーナーの使い方

インククリーナーは、マニュアルで指示した清掃箇所限り使用してください。部品が傷つくため、指示のない箇所ではインククリーナーを使わないでください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

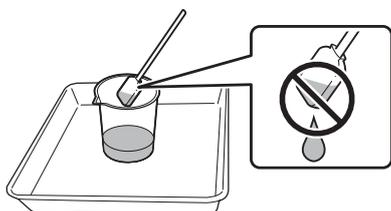
 「作業時のご注意」 27 ページ

- 1 インククリーナーに付属の容器を金属トレイに載せてインククリーナーを約 **10ml** 注ぎます。



- 2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが垂れないように注意してください。



クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染み込ませるときも、容器に注いだインククリーナーを使用してください。

### ！重要

- 一度清掃に使ったインククリーナーを使わないでください。汚れたインククリーナーを使うと、かえって汚れが付着します。
- 使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。  
 「使用済み消耗品の処分」 46 ページ
- インククリーナーは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- インククリーナー使用後は、必ず内蓋をしてから外蓋を閉めてください。確実に蓋をししないとインククリーナーが漏れたり、揮発したりするおそれがあります。

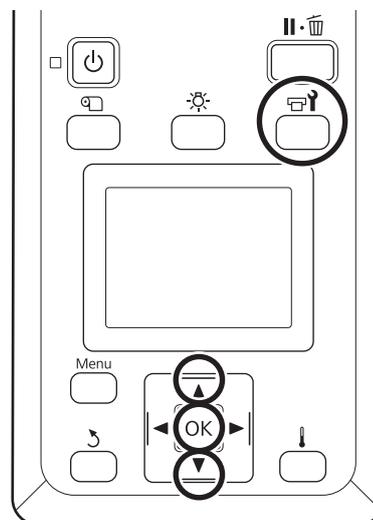
## プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

### ！重要

プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

以下の設定で使用するボタン



- 1 電源が入っていることを確認し、【】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【】 / 【】 ボタンを押して [ヘッドメンテナンス] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

- 3 【】 / 【】 ボタンを押して [定期清掃] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

**参考**

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。【OK】 ボタンを押して清掃を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

**！ご確認**

メンテナンス作業開始から  
10分経過しました。  
作業終了後にクリーニングを  
行ってください。

OK 閉じる

## プリントヘッド周辺の清掃

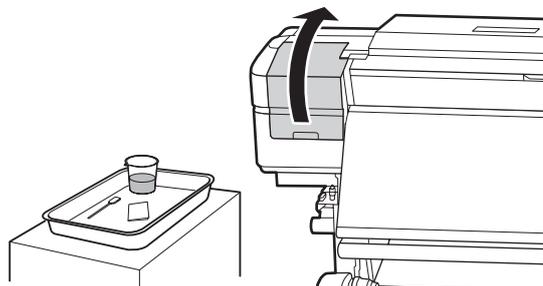
プリントヘッドの周囲を確認し、インクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリが付いているときは、以下の手順で清掃をしてください。

SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L にはプリントヘッドが2つあります。両方のプリントヘッド周辺を清掃してください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

 [「作業時のご注意」 27 ページ](#)

- 1 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、左側のメンテナンスカバーを開けます。



- 2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

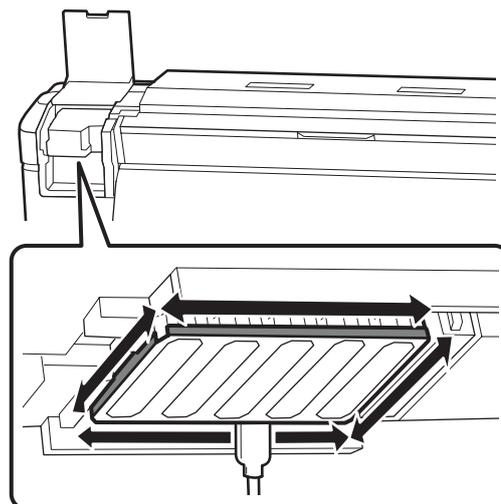
クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

 [「インククリーナーの使い方」 29 ページ](#)

**！重要**

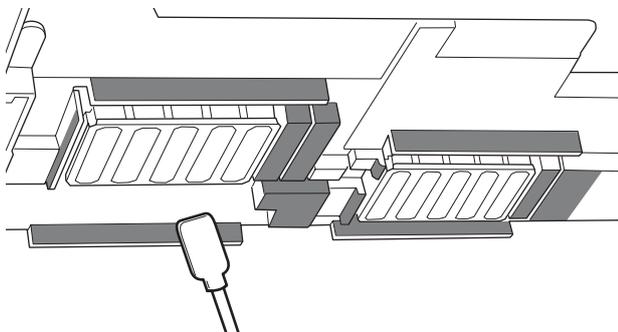
- クリーニング棒は、1手順ごとにインククリーナーですすいでください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いたときは、クリーンルーム用ワイパーで拭き取ってください。

- 3 矢印部分の固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

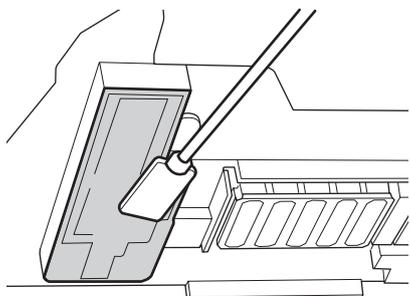


- 4** 図の□部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

SC-S40650 のプリントヘッドは右側のみです。



- 5** 図の□部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



- 6** 左側のメンテナンスカバーを閉めます。

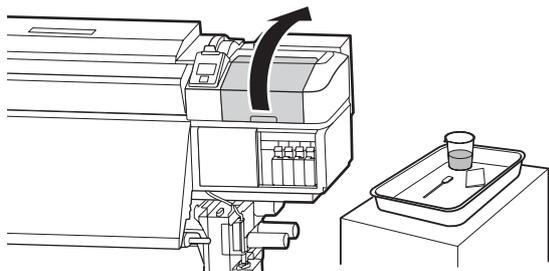
## キャップ周辺の清掃

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ 「作業時のご注意」 27 ページ

## キャップの清掃

- 1** 右側のメンテナンスカバーを開けます。



- 2** クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

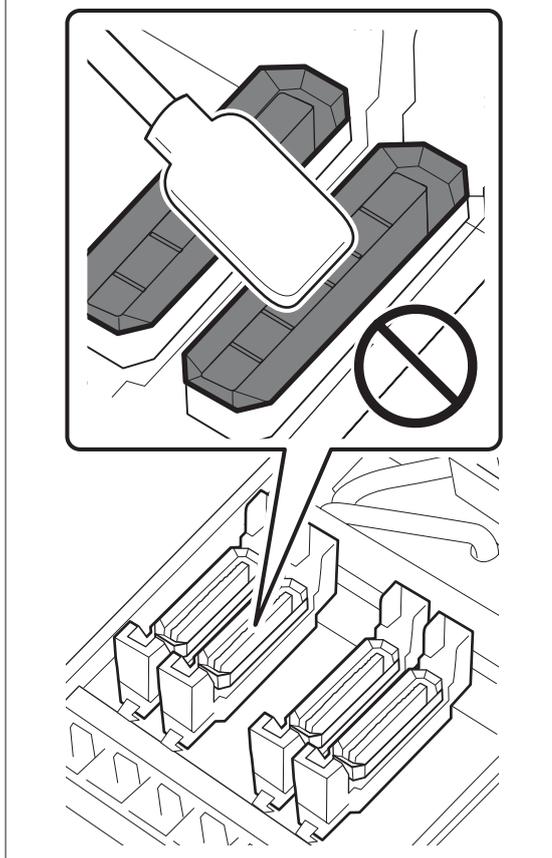
☞ 「インククリーナーの使い方」 29 ページ

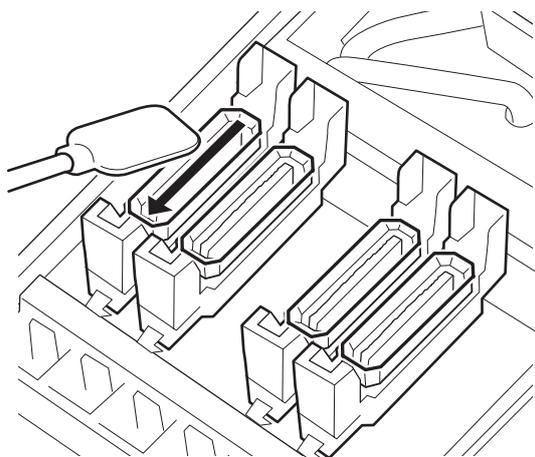
- 3** クリーニング棒を平らにして、全てのキャップのフチを拭き取ります。

SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L にはキャップが2ブロックあります。全てのキャップを清掃してください。

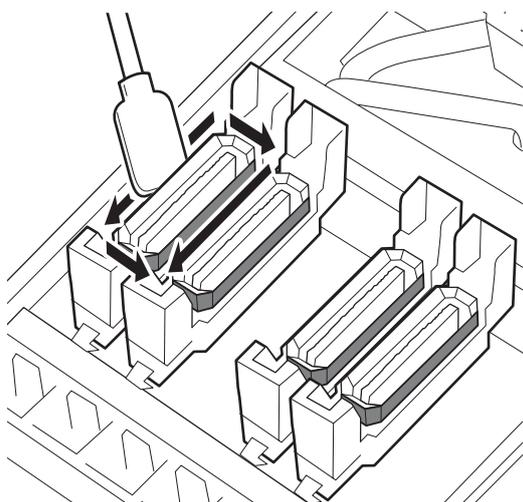
### !重要

ピンセットやクリーニング棒でキャップのフチや周囲を強く押さえたり、内側に触れたりしないでください。部品が変形して、正常にキャッピングできなくなるおそれがあります。





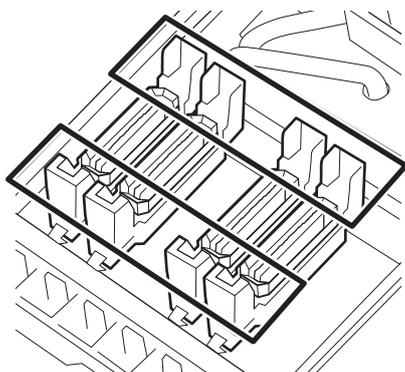
- 4** クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外周を拭き取ります。



### キャップ清掃時に点検する箇所

キャップ清掃時は、以下の点を確認してください。

- キャップの前後にあるガイド部にインクが固着していないか。



- ガイド部にインクが膜のように付いていないか。
- キャップ内側に毛羽ゴミが付着していないか。

- フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付着していないか。

汚れていないとき：清掃終了です。

☞ 「清掃の終了」 34 ページ

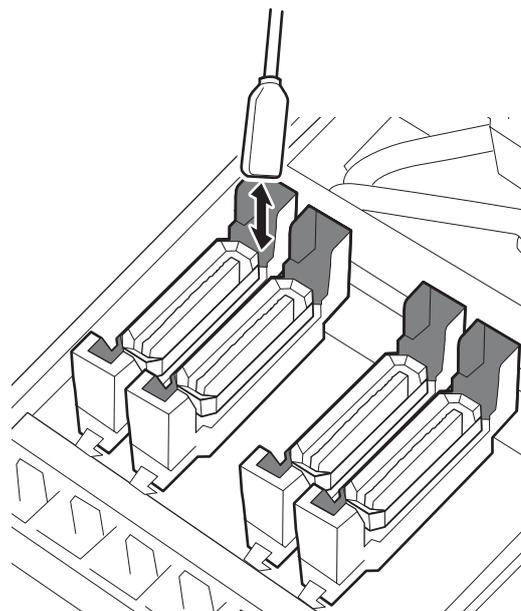
汚れているとき：次項をご覧になり必要な清掃を行います。

## ガイド部にインクが固着しているとき

- 1** クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

☞ 「インククリーナーの使い方」 29 ページ

- 2** ガイド部にインククリーナーを塗って拭き取ります。

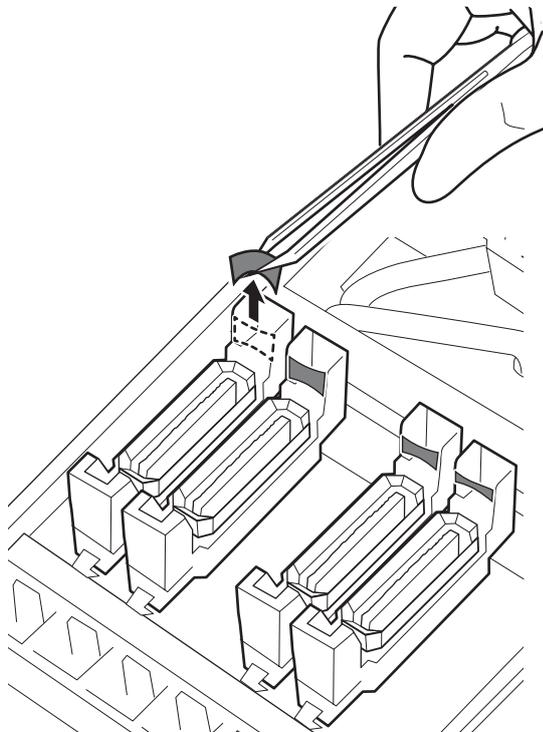


他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

☞ 「清掃の終了」 34 ページ

## ガイド部にインクが膜のように付いているとき

固着したインクが膜のようになってクリーニング棒で取りきれないときは、ピンセットで取り除きます。

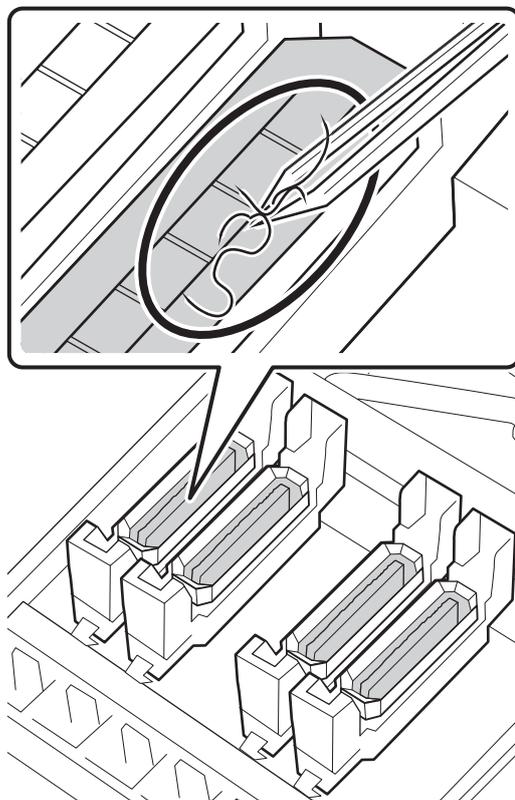


他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

☞ [「清掃の終了」 34 ページ](#)

## キャップ内に毛羽ゴミ、ホコリが付いているとき

クリーニング棒の先端やピンセットで取り除いてください。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

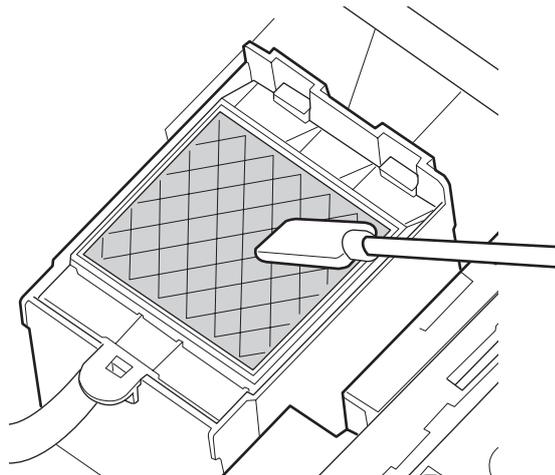
☞ [「清掃の終了」 34 ページ](#)

## フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付いているとき

クリーニング棒の先端で毛羽ゴミやホコリを取り除きます。

### ！重要

表面の金具を変形させないようにしてください。変形すると、プリントヘッドを傷つけるおそれがあります。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

🔗 [「清掃の終了」 34 ページ](#)

## 清掃の終了

清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。

続けて印刷するときは、ノズルチェックを行ってください。

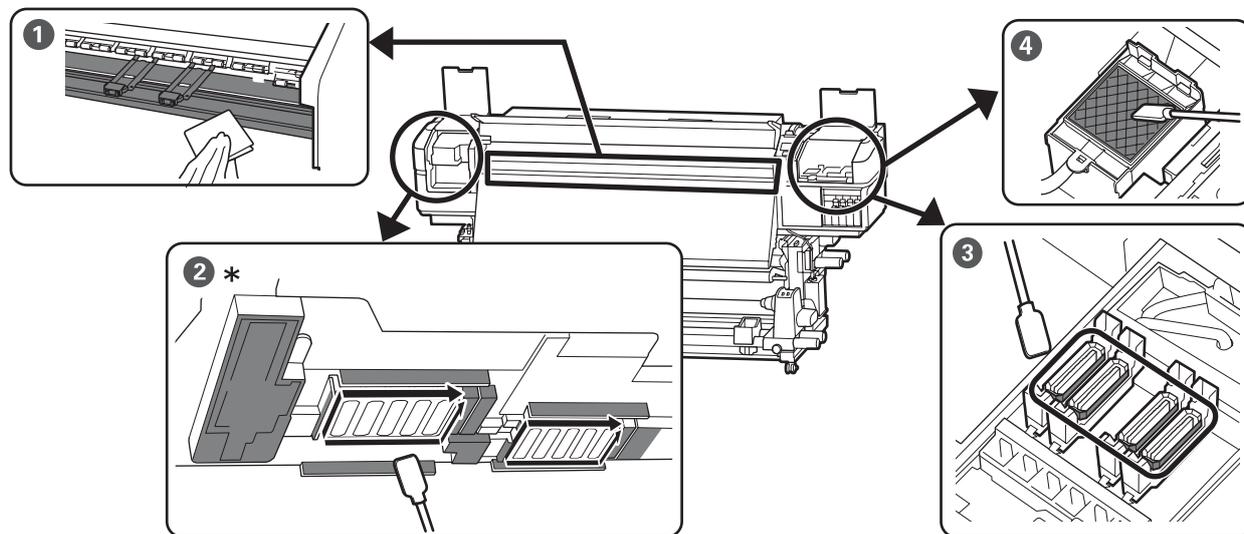
🔗 [『ユーザーズガイド』\(オンラインマニュアル\)](#)

使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーの廃棄 🔗 [「使用済み消耗品の処分」](#)

[46 ページ](#)

# 清掃チェックシート

このページをコピーして、メンテナンスの管理にお使いください。



\* SC-S40650 のプリントヘッドは右側のみ。

| 実施時期        | 清掃箇所  | 実施日 |   |   |   |   |
|-------------|---|-----|---|---|---|---|
| 毎日の作業開始前    | ① プラテンヒーター・メディア押さえ板<br>☞ 「毎日の清掃」 28 ページ                       | /   | / | / | / | / |
|             |   | /   | / | / | / | / |
|             |   | /   | / | / | / | / |
|             |   | /   | / | / | / | / |
|             |   | /   | / | / | / | / |
| 1 ヶ月に 1 回以上 | ② プリントヘッド周辺<br>③ キャップ周辺<br>④ フラッシング用吸収材<br>☞ 「定期清掃の仕方」 29 ページ | /   | / | / | / | / |
|             |   | /   | / | / | / | / |
|             |   | /   | / | / | / | / |
|             |   | /   | / | / | / | / |
| 汚れているとき*    | 前面カバー   | /   | / | / | / | / |
|             | 加圧ローラー  | /   | / | / | / | / |

\* 清掃方法 ☞ 『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

# インクカートリッジのかくはんと交換 (SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650)

## かくはんの方法

### かくはんのタイミングと回数

**！重要**

本機のインクカートリッジは、インクの特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。新品に交換するとき、および本機に装着後も定期的に取り外してインクカートリッジをかくはんしてください。

• 交換時

新品を袋から取り出してよく振ってください。振る回数はインクの色によって異なります。

|               |               |
|---------------|---------------|
| OR、WH、MS      | 15 秒間に 50 回程度 |
| OR、WH、MS 以外の色 | 5 秒間に 15 回程度  |

• 毎日の印刷業務開始前 (WH/MS のみ)

WH/MS は、他の色よりも沈降しやすい特性があります。毎日の印刷業務開始前にインクカートリッジを取り出して以下の回数、よく振ってください。

5 秒間に 15 回程度

24 時間以上インクカートリッジが振られないと、以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかにインクカートリッジを取り出して振ってください。

[(MS/) WH カートリッジを取り出して振ってください。]

• 3 週間に 1 度 (WH/MS を除く各色)

インクカートリッジを本機に装着後も定期的に取り出してよく振ってください。

5 秒間に 15 回程度

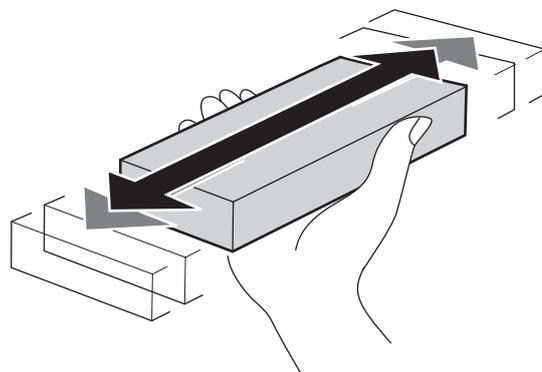
## 振り方

**1** 本機の電源が入っていることを確認してインクカートリッジを取り出します。

交換時は、新品を袋から取り出します。

**2** 水平方向に両側約 5cm の振り幅で、5 秒間に 15 回程度、よく振ります。

OR、WH、MS は、交換時に限り 15 秒間に 50 回程度、よく振ります。



## 交換方法

1 色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

**！重要**

WH/MS インク使用時は、[ インク量 限界値以下] と表示されたら、速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。

インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

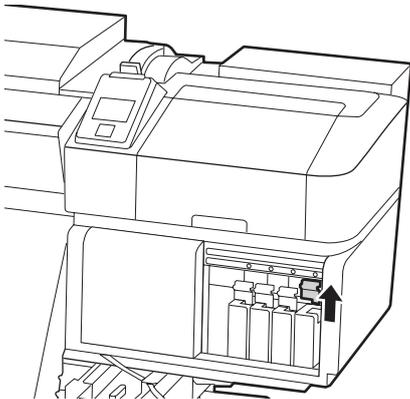
印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクカートリッジを使い続けると、印刷途中でインクカートリッジの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクカートリッジと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクカートリッジは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。インクカートリッジとクリーニングカートリッジの交換は、以降の手順で行います。

**！重要**

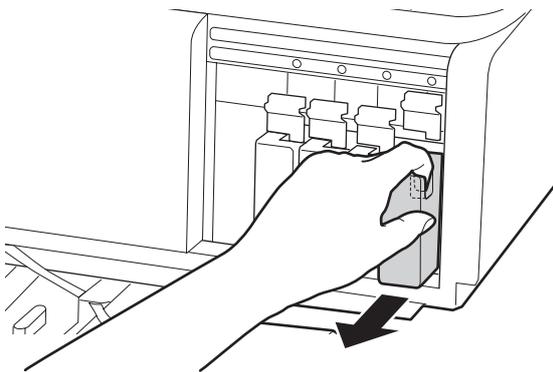
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

**1** 本機の電源が入っていることを確認します。

**2** 交換するインクカートリッジのロックレバーを引き上げます。



**3** インクカートリッジ上部のくぼみに指をかけて、まっすぐに引き抜きます。

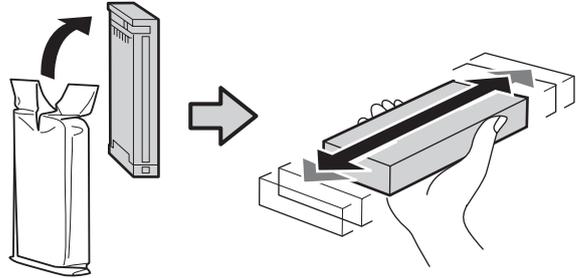


**！重要**

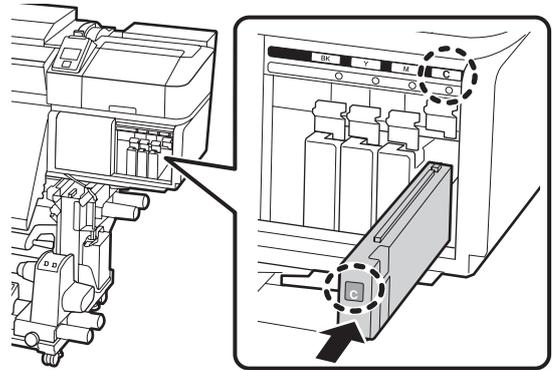
取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

**4** 水平方向に両側約 5cm の振り幅で、5 秒間に 15 回程度、よく振ります。

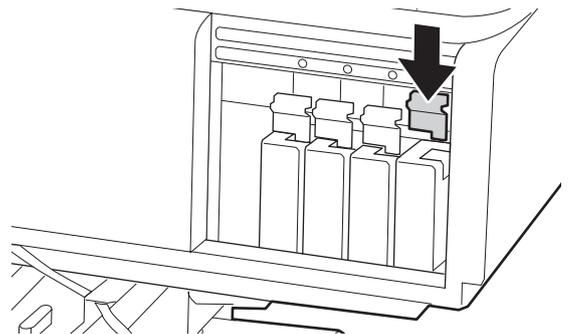
OR、WH、MS は 15 秒間に 50 回程度、よく振ります。



**5** インクカートリッジと本機に貼付のラベルの色を合わせて、奥まで差し込みます。



**6** ロックレバーを下げてロックします。



別の色のインクカートリッジも交換するときは、手順 2～手順 6 を行います。

**！重要**

カートリッジは、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。

廃棄 ♻️ [「純正カートリッジの回収」](#) 46 ページ

# インクパックのかくはんと交換 ( SC-S80650L/ SC-S60650L)

## かくはんの方法

### かくはんのタイミングと回数

**！重要**

本機のインクパックは、インクの特長上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。

新品に交換するとき、およびインクユニットに装着後も定期的に取り外してインクパックをかくはんしてください。

• 交換時

振る回数はインクの色によって異なります。

|               |               |
|---------------|---------------|
| OR、WH、MS      | 25 秒間に 25 回程度 |
| OR、WH、MS 以外の色 | 5 秒間に 5 回程度   |

• 毎日の印刷業務開始前 (WH/MS のみ)

WH/MS は、他の色よりも沈降しやすい特性があります。毎日の印刷業務開始前にインクパックを取り出して以下の回数、よく振ってください。

5 秒間に 5 回程度

24 時間以上かくはんされない状態が続くと、以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかにトレイを取り出してかくはんしてください。

[(MS/) WH インクパックを取り出して振ってください。]

• 3 週間に 1 度 (WH/MS を除く各色)

LED ランプが青色点滅しているトレイを取り出してかくはんしてください。印刷品質を保つために青点滅した状態で使い続けないでください。

5 秒間に 5 回程度

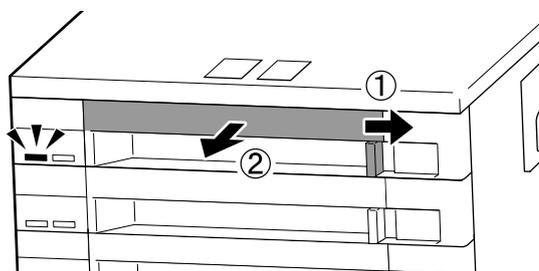
## 振り方

- 1 本機の電源が入っていることを確認してインクユニットからかくはん対象のトレイを引き出します。

LED ランプが青点滅しているのがかくはんが必要なインクパックです。

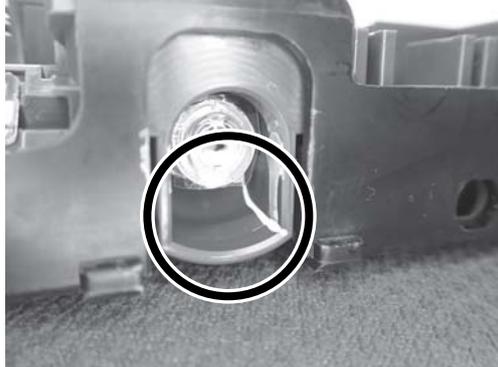
**！重要**

トレイを取り出すときは、トレイ底面に手を添えてください。片手で作業をすると、トレイを引き抜いたときに重さでトレイが落下し破損するおそれがあります。

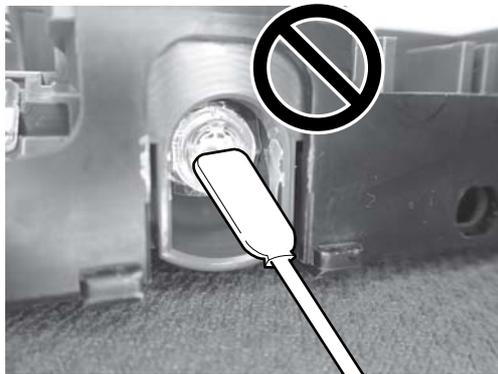


**参考**

トレイを引き出した際は、インクパックのインク供給孔を確認してください。写真のようにインクが垂れたり、インクが底面にたまったりしているときは、クリーニング棒で拭き取ってください。

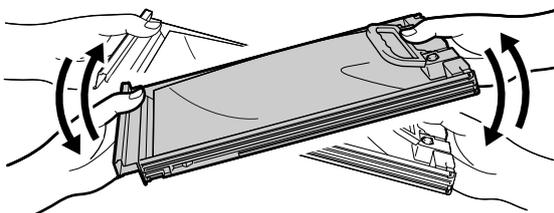


拭き取る際は、インク供給孔に触れないでください。



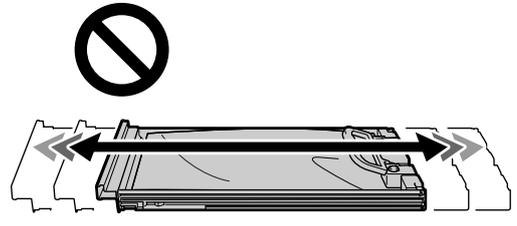
**2** インクパックがトレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 5 秒間に 5 回程度、よく振ります。

OR、WH、MS は、交換時に限り 25 秒間に 25 回程度、よく振ります。



**！重要**

インクパックがセットされたトレイやインクパックを強く振ったり、振り回したりしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



## 交換方法

1 色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

**！重要**

WH/MS インク使用時は、[~~×~~インク量 限界値以下] と表示されたら、速やかに新しいインクパックと交換してください。

インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクパックと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。

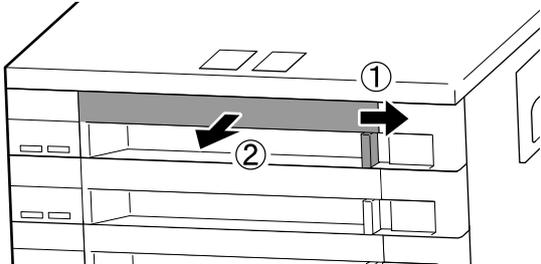
インクパックとクリーニングインクパックの交換は、以降の手順で行います。

**！重要**

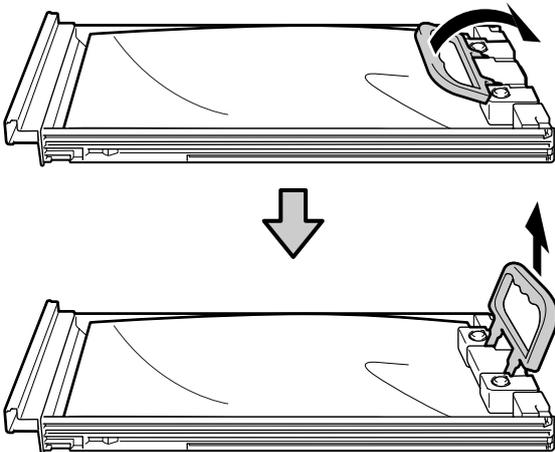
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のもをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

1 本機の電源が入っていることを確認します。

2 インクユニットから交換するインクパックが入っているトレイを引き出します。



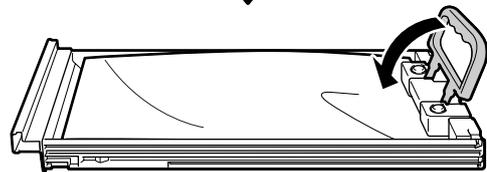
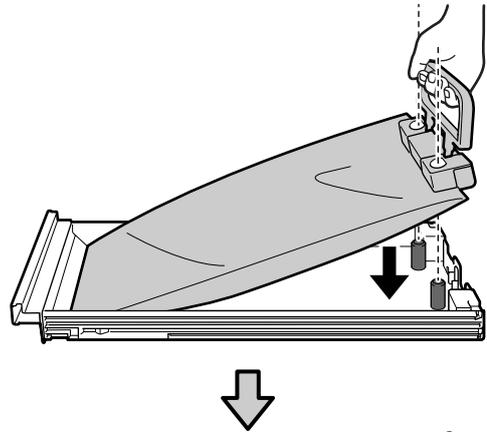
3 インクパックをトレイから取り外します。



**!重要**

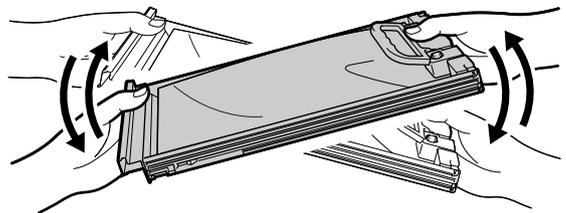
取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

4 新しいインクパックをトレイにセットしてハンドルを倒します。

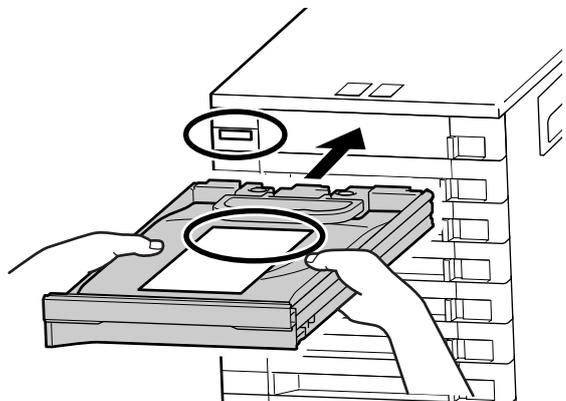


5 インクパックがトレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 5 秒間に 5 回程度、よく振ります。

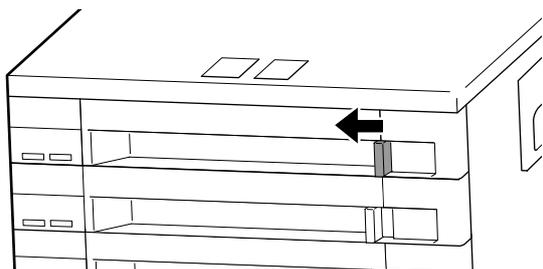
OR、WH、MS は 25 秒間に 25 回程度、よく振ります。



6 インクパックとインクユニットに貼付のラベルの色を合わせてトレイを奥まで押し込みます。



**7** ロックスイッチを左に動かしてロックします。



別の色のインクパックも交換するときは、手順 2～手順 7 を行います。

**！重要**

全トレイにインクパックをセットしてインクユニットに装着してください。インクパックがセットされていないトレイやインクユニットに装着されていないトレイが 1 色でもあると印刷できません。

廃棄 [「廃棄」46 ページ](#)

## 廃インク処理

### 準備と交換時期

**【空の廃インクボトルを準備してください。】と表示されたとき**

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。夜間稼働などのため、この段階で廃インクボトルを交換するときは、設定メニューから【廃インクボトル交換】を実施して交換作業を行ってください。【廃インクボトル交換】を実施せずに交換すると、廃インクカウンターが正しく働かなくなります。

設定メニューの詳細 [「ユーザーズガイド」\(オンラインマニュアル\)](#)

廃インクカウンター [「廃インクカウンターについて」41 ページ](#)

**！重要**

印刷中や本機が以下の動作を実行中は、画面の指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

- ヘッドクリーニング
- ヘッド洗浄
- インクリフレッシュ
- 長期保管前メンテナンス

**【空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。】と表示されたとき**

直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。

交換方法 [「廃インクボトルの交換」41 ページ](#)

## 廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。【空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。】のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューの【廃インクボトル交換】を実行してください。

[「ユーザーズガイド」\(オンラインマニュアル\)](#)

**！重要**

メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

## 廃インクボトルの交換

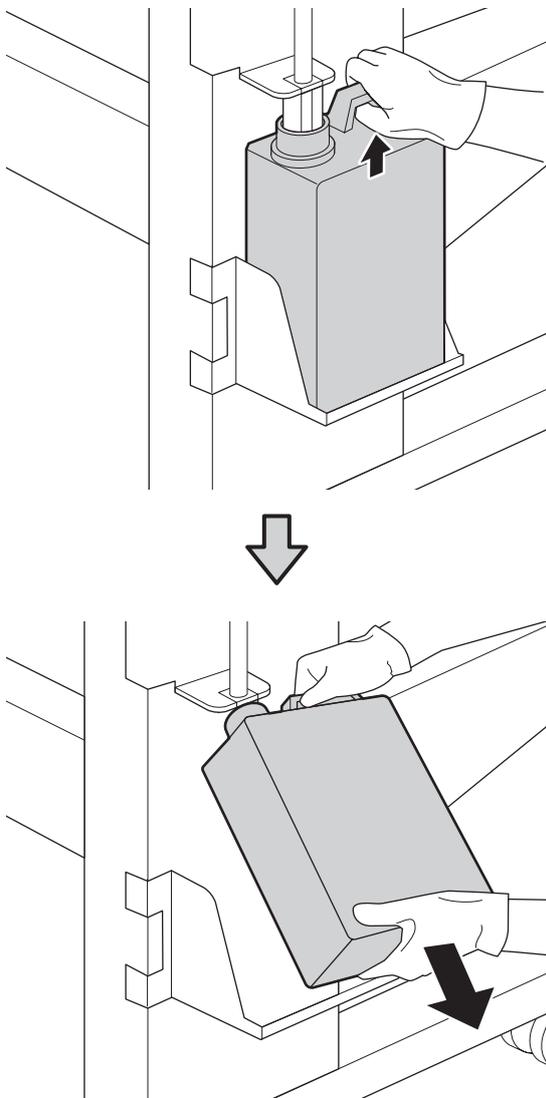
以降の手順に従って、交換作業を行います。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

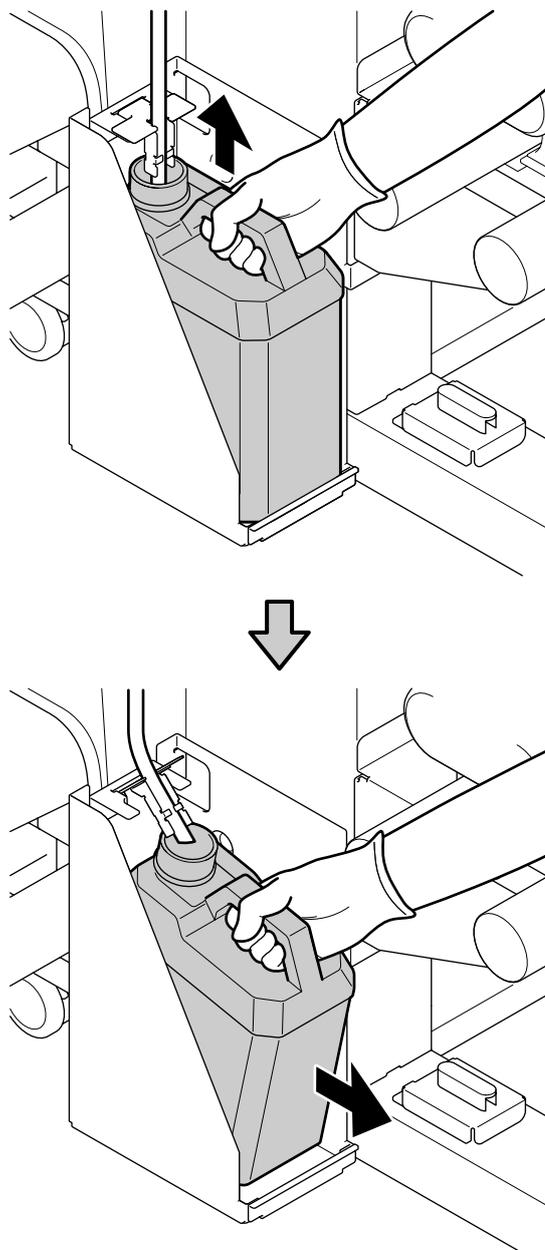
[「作業時のご注意」27 ページ](#)

- 1 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。

SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650



SC-S80650L/SC-S60650L



- 2 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

**!重要**

新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。

**3** 【OK】 ボタンを押します。

**4** 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。【OK】 ボタンを押すと、廃インクカウンターがクリアされます。

**！重要**

必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

使用済み廃インクと廃インクボトルの廃棄 [🔗 「廃棄」 46 ページ](#)

## メンテナンスパーツの交換

### 準備と交換時期

#### 【メンテナンスパーツの交換時期が近づきました】と表示されたとき

直ちに新しいメンテナンスパーツキットを手元に用意してください。

夜間稼働などのため、この段階で交換するときは、設定メニューから【メンテナンスパーツ交換】を実施して交換作業を行ってください。【メンテナンスパーツ交換】を実施せずに交換すると、メンテナンスパーツカウンターが正しく働かなくなります。

設定メニューの詳細 [🔗 「ユーザーズガイド」 \(オンラインマニュアル\)](#)

**！重要**

#### メンテナンスカウンターについて

本機は、メンテナンスカウンターで使用量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。

【**⊗**メンテナンスパーツ交換時期】のメッセージに従って新しいメンテナンスパーツと交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューから【メンテナンスパーツ交換】を実行してください。

[🔗 「ユーザーズガイド」 \(オンラインマニュアル\)](#)

#### 【**⊗**メンテナンスパーツ交換時期】と表示されたとき

メンテナンスパーツキットに付属のパーツを全て交換してください。交換しないと印刷できません。

交換用のメンテナンスパーツキットは、必ず本機専用のものをお選びください。

[🔗 「メンテナンス用品」 51 ページ](#)

メンテナンスパーツキットには、以下のパーツが入っています。メンテナンスパーツは同時にまとめて交換してください。

- ワイパーユニット (1 個)
- フラッシング用吸収材 (1 個)
- エアフィルター (2 個)

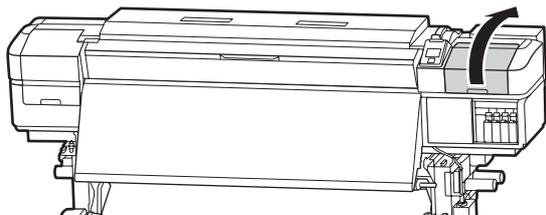
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[🔗 「作業時のご注意」 27 ページ](#)

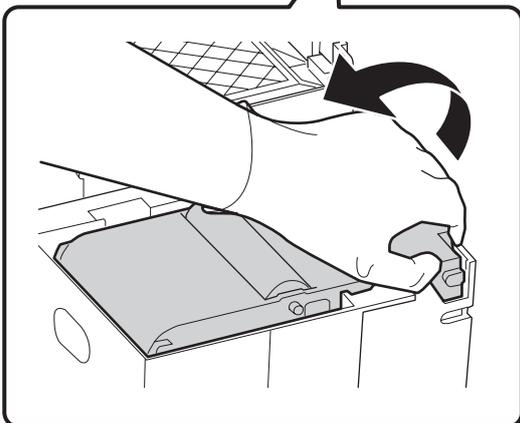
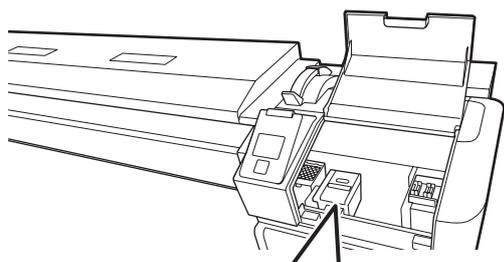
## 交換方法

1 メッセージの指示に従って【OK】ボタンを押します。

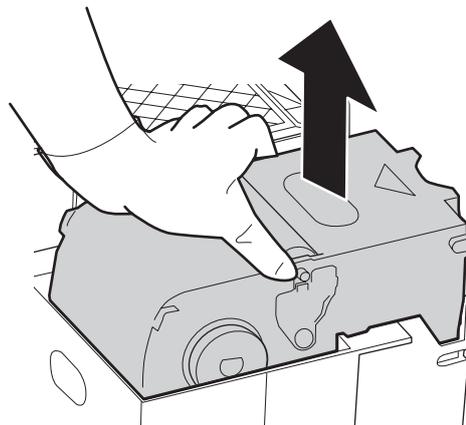
2 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、右側のメンテナンスカバーを開けます。



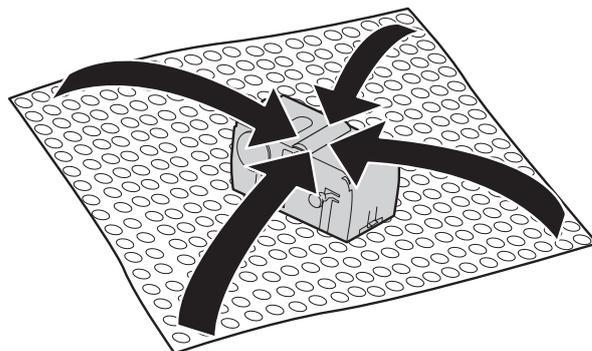
3 ワイパーユニットの奥のくぼみに指を掛けて、少し手前に引き上げます。



4 まっすぐに持ち上げて取り外します。

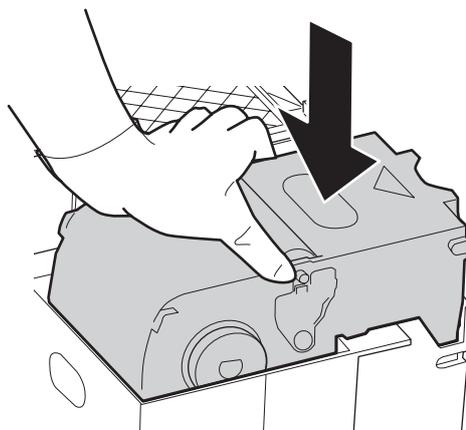


5 使用済みのワイパーユニットは、インクが周りに付かないように、新品のワイパーユニットを包んでいた緩衝材で包みます。



6 新品のワイパーユニットを取り付けます。

取り付け部に載せて、カチッと音がするまで押し込みます。



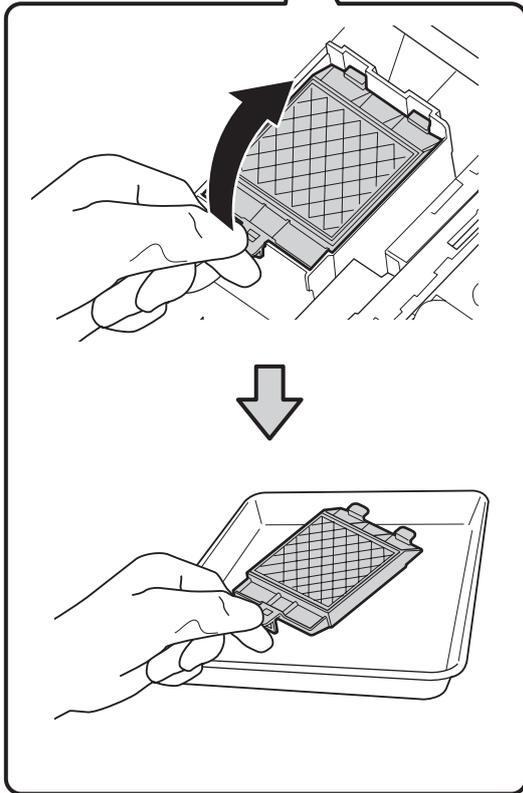
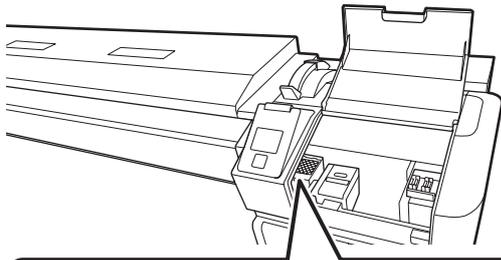
7 ワイパーユニットの交換が終了したら、【OK】ボタンを押します。

- 8** フラッシング用吸収材は、つまみを持って引き上げて取り外します。

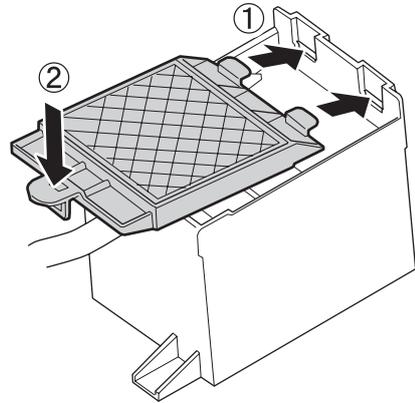
取り外したフラッシング用吸収材は、インクが周りに付かないように金属トレイに載せてください。

**！重要**

取り外した使用済のフラッシング用吸収材は、廃棄するまで金属トレイに載せておいてください。本機の上などに直接置くとインクの性質上、除去が困難な汚れが付くことがあります。



- 9** 新品のフラッシング用吸収材の 2 本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。

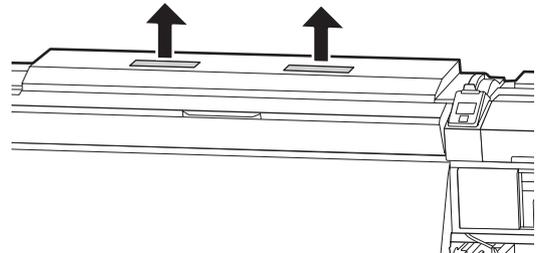


- 10** フラッシング用吸収材の交換が終了したら、【OK】ボタンを押します。

- 11** 新品のエアフィルターを 2 個とも袋から取り出します。

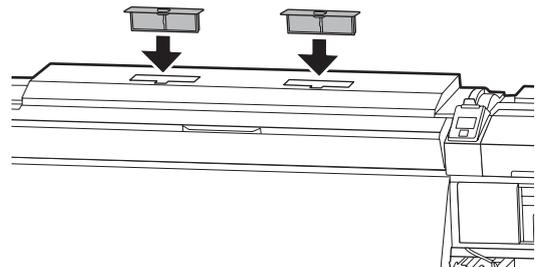
- 12** エアフィルターのつまみを持ち、真上に引き上げます。

エアフィルターは両側とも交換します。



- 13** 取り外したエアフィルターを新品のエアフィルターが入っていた袋に入れます。

- 14** 新品のエアフィルターを挿入します。



- 15 エアフィルターが装着されていることを確認して、【OK】ボタンを押します。

**！重要**

エアフィルターは必ず取り付けてください。取り付けずに本機を使用すると、ミストでセンサーが劣化して印刷結果のズレや本機の故障の原因になります。

- 16 メンテナンスカバーを閉めて【OK】ボタンを押します。

- 17 画面に確認のメッセージが表示されます。内容を確認して、【はい】を選択し【OK】ボタンを押します。

使用済みメンテナンスパーツの廃棄  [「廃棄」46 ページ](#)

## 使用済み消耗品の処分

### 純正カートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジ、クリーニングカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

### 廃棄

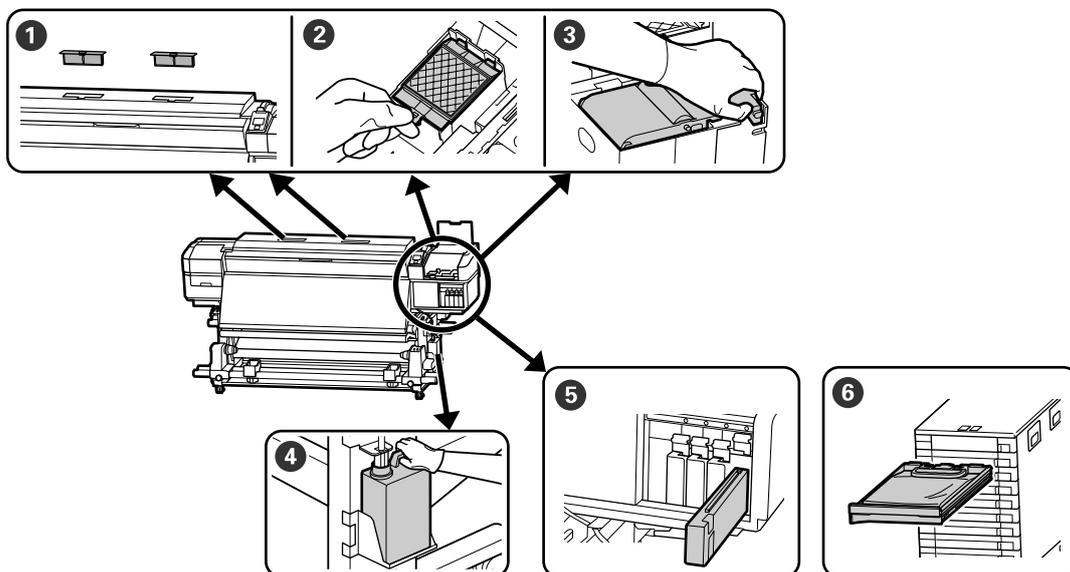
使用済みの以下のインク付着物は産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- クリーンルーム用ワイパー
- インククリーナー
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ワイパーユニット
- フラッシング用吸収材
- エアフィルター
- 印刷後のメディア
- 空のインクパック

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。製品安全データシートは、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

# 消耗品交換チェックシート

このページをコピーして、メンテナンスの管理にお使いください。



| 実施時期                     | 交換箇所  | 実施日                                   |   |   |   |   |   |
|--------------------------|---|---------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 操作パネルの画面に交換メッセージが表示されたとき | ① エアフィルター<br>② フラッシング用吸収材<br>③ ワイパーユニット<br>☞ 「メンテナンスパーツの交換」 43 ページ  | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          |   | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          |   | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          | ④ 廃インクボトル<br>☞ 「廃インク処理」 41 ページ  | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          |   | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          |   | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          | ⑤ インクカートリッジ (SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650)<br>☞ 「交換方法」 36 ページ<br>⑥ インクパック (SC-S80650L/SC-S60650L)<br>☞ 「交換方法」 39 ページ | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          |   | /                                     | / | / | / | / |   |
|                          | 変形したり破損したりしたとき  | メディア押さえ板<br>☞ 『ユーザーズガイド』 (オンラインマニュアル) | / | / | / | / | / |

# 長期間保管するときの事前メンテナンス

## 事前メンテナンス実施タイミング

本機を長期間使用しない（電源を切る）ときは、必ず事前メンテナンスを実施してください。

長期間保管メンテナンスを行わずに長期間使用しないときは、7日に1度は電源を入れてください。

**！重要**

事前メンテナンスをせずに放置すると、プリントヘッドのノズルの目詰まりが解消できなくなります。

お使いの機種により、以下の通り事前メンテナンスが必要となる時期が異なります。

### SC-S40650/SC-S60650/SC-S60650L

事前メンテナンスでは、別売のクリーニングカートリッジ/クリーニングインクパック（CL）を下表の本数使います。

| 期間の目安  | CL 数   |
|--------|--|
| 1 ヶ月以上 | SC-S40650:4 本<br>SC-S60650:8 本<br>SC-S60650L:8 パック |

### SC-S80650/SC-S80650L

WH/MS インクはインクの特性上、放置できる期間はおよそ6日です。

使用しない期間が13日以下のときは、WH/MS インクに対してだけ事前メンテナンスを実施します。

2週間以上、使用しないときには全色に事前メンテナンスが必要です。事前メンテナンスでは、別売のクリーニングカートリッジ/クリーニングインクパック（CL）を下表の本数使います。

10色モード時

| 期間の目安 | 対象色   | CL 数                                |
|-------|-------|-------------------------------------|
| 7～13日 | WH/MS | SC-S80650:2 本<br>SC-S80650L : 2 パック |

| 期間の目安 | 対象色    | CL 数                                  |
|-------|--------|---------------------------------------|
| 2週間以上 | 全色（全列） | SC-S80650:10 本<br>SC-S80650L : 10 パック |

9色モード時

| 期間の目安 | 対象色    | CL 数                                  |
|-------|--------|---------------------------------------|
| 2週間以上 | 全色（全列） | SC-S80650:10 本<br>SC-S80650L : 10 パック |

**！重要**

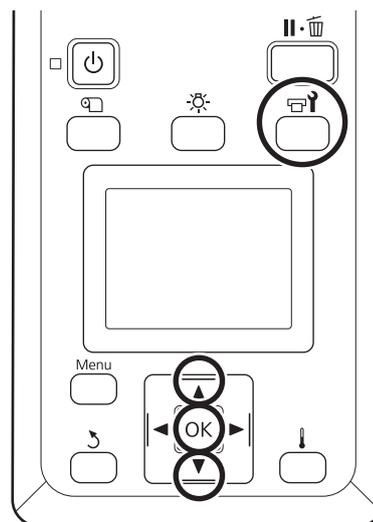
WH/MS インクに対してのみ [長期保管前メンテナンス] を実施した後で [全列] に変更するには、本機の電源を入れて WH/MS インクを充填してから再び [長期保管前メンテナンス] を実施してください。

## 事前メンテナンスの方法

**！重要**

インクや洗浄液の残量が足りないと機能を実行できないことがあります。残量が残り少ないときは、念のためお手元に新品のカートリッジをご用意ください。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認し、【】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▲】 ボタンを押して [その他のメンテナンス] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

3 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[長期保管前メンテナンス] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

4 [全列] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

SC-S80650/SC-S80650L (10 色モード) で、使用しない期間が 13 日以下のときには装着しているインクに応じて [WH] または [MS] を選択して【OK】 ボタンを押します。

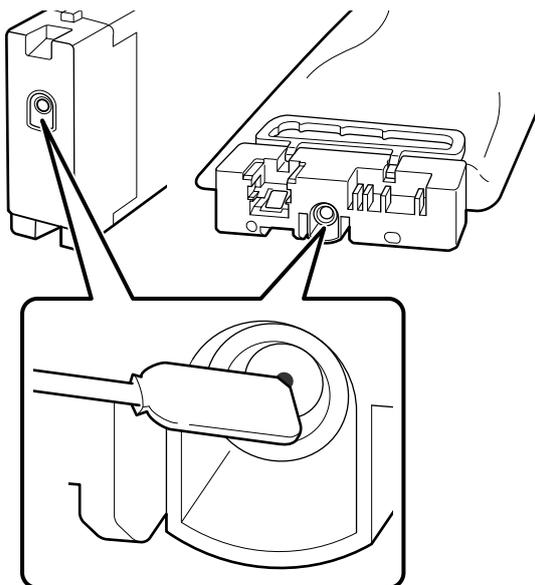
5 以降は、画面の指示に従ってカートリッジ/インクパックを差し替えます。

取り外したインクカートリッジ/インクパックは、インク供給孔部に付着しているインクを清掃してから保管してください。

#### 清掃方法

下図の通り、付属のメンテナンスキットのクリーニング棒の角をインク供給孔の穴の部分に軽く当ててインクを吸着させます。インクを拭き取る必要はありません。

混色を防ぐために各色ごとに新しいクリーニング棒を使用してください。クリーニング棒は、強く押し当てたり動かしたりしないでください。



本機、および取り外した使用途中のインクカートリッジ/インクパックは、『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）をご覧ください。正しく保管してください。

## 使用を再開するとき

### !重要

使用を再開するときは、本機にインクを充填します。取り外したインクカートリッジを使用して充填するときは、念のためお手元に新品のインクカートリッジをご用意ください。

電源を入れて、画面の指示に従ってください。再開後、初めて印刷するときは、ノズルチェックを行って目詰まりがないことを確認してください。

📖 『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

# メンテナンス用品のご案内

最新の情報は、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。(2019年6月現在)

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジ/インクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

## インクカートリッジ

### SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 用

| プリンター型番             | 商品名       |           | 型番       |
|---------------------|-----------|-----------|----------|
| SC-S80650           | インクカートリッジ | ブラック      | SC10BK70 |
|                     |           | シアン       | SC10C70  |
|                     |           | マゼンタ      | SC10M70  |
|                     |           | イエロー      | SC10Y70  |
|                     |           | ライトシアン    | SC10LC70 |
|                     |           | ライトマゼンタ   | SC10LM70 |
|                     |           | グレー       | SC10GY70 |
|                     |           | オレンジ      | SC10OR70 |
|                     |           | レッド       | SC10R70  |
|                     |           | ホワイト      | SC10WW60 |
|                     |           | メタリックシルバー | SC10MT35 |
| SC-S60650/SC-S40650 | インクカートリッジ | ブラック      | SC10BK70 |
|                     |           | シアン       | SC10C70  |
|                     |           | マゼンタ      | SC10M70  |
|                     |           | イエロー      | SC10Y70  |

# インクパック

## SC-S80650L/SC-S60650L 用

| プリンター型番    | 商品名    |           | 型番      |
|------------|--------|-----------|---------|
| SC-S80650L | インクパック | ブラック      | SC19BKL |
|            |        | シアン       | SC19CL  |
|            |        | マゼンタ      | SC19ML  |
|            |        | イエロー      | SC19YL  |
|            |        | ライトシアン    | SC19LCL |
|            |        | ライトマゼンタ   | SC19LML |
|            |        | グレー       | SC19GYL |
|            |        | オレンジ      | SC19ORL |
|            |        | レッド       | SC19RL  |
|            |        | ホワイト      | SC19WWL |
|            |        | メタリックシルバー | SC19MTL |
| SC-S60650L | インクパック | ブラック      | SC19BKL |
|            |        | シアン       | SC19CL  |
|            |        | マゼンタ      | SC19ML  |
|            |        | イエロー      | SC19YL  |

# メンテナンス用品

## SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 用

| 商品名          | 型番       | 備考   |
|--------------|----------|--|
| クリーニングカートリッジ | SC10CLL  | 長期保管前メンテナンス時に使用します。  |
| メンテナンスパーツキット | SC10MKIT | 以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイパーユニット (1 個)</li> <li>• フラッシング用吸収材 (1 個)</li> <li>• エアフィルター (2 個)</li> <li>• 手袋 (2 枚)</li> </ul> |
| インククリーナー     | SC2CLN   | 製品付属のインククリーナーと同等品です。   |
| 廃インクボトル      | SC2WIB   | 製品付属の廃インクボトルと同等品です。  |
| クリーニング棒      | SC2CS    | 製品付属のメンテナンスキットに付属のものと同等品です。  |
| クリーンルーム用ワイパー | SC2CRW   |  |

メンテナンス用品のご案内

**SC-S80650L/SC-S60650L 用**

| 商品名          | 型番        | 備考   |
|--------------|-----------|--|
| クリーニングインクパック | SC19PCLL  | 長期保管前メンテナンス時に使用します。  |
| メンテナンスパーツキット | SC10MKIT2 | 以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイパーユニット (1 個)</li> <li>• フラッシング用吸収材 (1 個)</li> <li>• エアフィルター (2 個)</li> <li>• 手袋 (2 枚)</li> </ul> |
| インククリーナー     | SC2CLN    | 製品付属のインククリーナーと同等品です。   |
| 廃インクボトル      | SC17WIB   | 製品付属の廃インクボトルと同等品です。  |
| クリーニング棒      | SC2CS     | 製品付属のメンテナンスキットに付属のものと同等品です。  |
| クリーンルーム用ワイパー | SC2CRW    |  |

# インクのボタ落ちやノズル目詰まりの対処方法

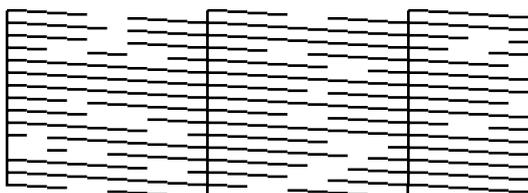
## 現象

印刷結果に以下の状態が生じたら、以降の対処を行ってください。

### インクのボタ落ち



### ノズルが目詰まりする



## 対処

印刷結果が改善されるまで、以下の順番で対処を実施してください。

### 1. ヘッドクリーニングの実施

[「ヘッドクリーニング」53ページ](#)



### 2. 自動ヘッドメンテナンスの実施

[「自動ヘッドメンテナンス」54ページ](#)



### 3. 定期清掃の実施

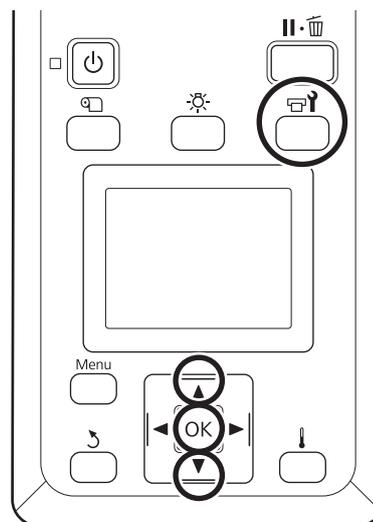
[「定期清掃の仕方」29ページ](#)

## ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングには、[クリーニング (弱)] [クリーニング (中)] [クリーニング (強)] と3段階のレベルがあります。

最初は、[クリーニング (弱)] を実施してください。実施後チェックパターンを印刷してかすれや欠けがあるときは [クリーニング (中)] を、それでも解消されないときは [クリーニング (強)] を実施してください。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認して【】ボタンを押します。  
メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して [クリーニング] を選択し、【OK】 ボタンを押します。
- 3 クリーニングのレベルを選択して【OK】 ボタンを押します。  
最初は、[クリーニング (弱)] を選択します。  
2 回目は、[クリーニング (中)] を選択します。  
3 回目は、[クリーニング (強)] を選択します。
- 4 クリーニングを行うノズル列の指定方法を選択します。  
[クリーニング (弱)] を選択したときは、[全列クリーニング] のみです。

## 全列クリーニング

印刷されたチェックパターンの全てにかすれや欠けがあるときに選択します。選択後は、手順 6 に進みます。

### Head1/Head2

SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L のみ表示されます。

印刷されたチェックパターンで片方のプリントヘッドのパターンだけにかすれや欠けがあるときに選択します。選択後は、手順 6 に進みます。

### クリーニングする列を選択

印刷されたチェックパターンで特定の番号（ノズル列）のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

## 5 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。

- (1) 【▼】 / 【▲】 ボタンを押してかすれや欠けがあるチェックパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【OK】 ボタンを押します。
- (2) ヘッドクリーニングするノズル列を全て選び終わったら【選択を決定し実行】を選択して【OK】 ボタンを押します。

## 6 ヘッドクリーニングが開始されます。

ヘッドクリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。

## 7 チェックパターンを印刷して目詰まりを確認するときは、【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【ノズルチェック】を選択し、【OK】 ボタンを押します。

すでにチェックパターンを印刷したメディアの余白にチェックパターンを印刷するときは、印刷開始位置が加圧ローラーの位置にくるまで【▲】 ボタンを押してメディアを戻してください。

## 8 任意の印刷位置を選択して【OK】 ボタンを押します。

一度チェックパターンを印刷した余白に並べて印刷するときは【印刷位置（中央）】か【印刷位置（左）】を選択します。セットしているメディア幅によって、表示される内容が変わります。

【OK】 ボタンを押すとチェックパターンの印刷が始まります。

## 9 必要に応じてメディアをカットして印刷されたチェックパターンを確認します。

### かすれや欠けがないとき

通常の作業を再開してください。

### かすれや欠けがあるとき

手順 1 に戻ってヘッドクリーニングのレベルを一つ上げて実施します。

### 【クリーニング（強）】を実施してもノズルの目詰まりが解消されないとき

プリントヘッド周辺が汚れているおそれがあります。次項の【自動ヘッドメンテナンス】を実施してください。

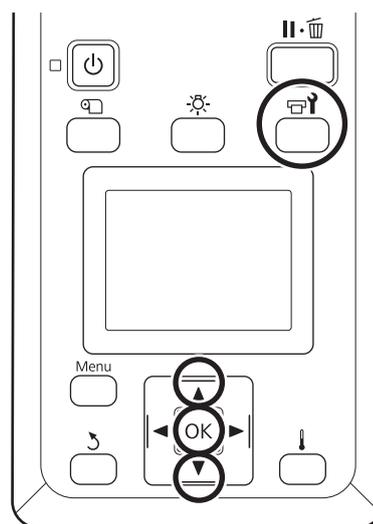
## 自動ヘッドメンテナンス

自動ヘッドメンテナンスは、ヘッドクリーニングを実施してもインクのボタ落ちやノズルの目詰まりが解消されないときに実施します。

### ！重要

自動ヘッドメンテナンスは、1日に何度も行わないでください。頻繁に行うと、プリントヘッドを傷めます。

以下の操作で使用するボタン



## 1 印刷可能状態であることを確認して【☑️】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

**2** 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して [ヘッドメンテナンス] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

**3** [自動ヘッドメンテナンス] が選択されていることを確認して【OK】 ボタンを押します。

**4** 【OK】 ボタンを押します。

自動ヘッドメンテナンスが開始されます。  
自動ヘッドメンテナンスが終了すると、設定メニューが終了します。

自動ヘッドメンテナンスを行ってもインクのボタ落ちやノズルの目詰まりが解消されないときは、プリントヘッドやキャップ周辺の清掃を行います。

 [「定期清掃の仕方」 29 ページ](#)

## ●エプソンのウェブサイト [epson.jp](http://epson.jp)

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

## ●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

**050-3155-8690**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

## ●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

**050-3155-8100**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。  
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

## ● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

[myepson.jp/](http://myepson.jp/)

▶ カンタンな質問に答えて  
会員登録。

## ●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
最新の情報はエプソンのウェブサイト([epson.jp/support](http://epson.jp/support))にてご確認ください。

**エプソン販売株式会社** 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

**セイコーエプソン株式会社** 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(インク2) 2018.04